

Omron Process Suite ドライバー

© 2020 PTC Inc. All Rights Reserved.

目次

Omron Process Suite ドライバー	1
目次	1
Omron Process Suite ドライバー	3
概要	3
設定	3
チャンネルのプロパティ - 一般	4
チャンネルのプロパティ - シリアル通信	4
チャンネルのプロパティ - 書き込み最適化	6
チャンネルのプロパティ - 詳細	7
デバイスのプロパティ - 一般	8
動作モード	9
デバイスのプロパティ - スキャンモード	9
デバイスのプロパティ - タイミング	10
デバイスのプロパティ - 自動格下げ	11
デバイスのプロパティ - 冗長	11
データ型の説明	11
アドレスの説明	12
E5AF-A アドレスの説明	12
E5AF-AH アドレスの説明	18
E5AJ-A アドレスの説明	23
E5AX-A アドレスの説明	27
E5AX-AH アドレスの説明	32
E5AX-DAA アドレスの説明	37
E5AX-PRR アドレスの説明	42
E5AX-VAA アドレスの説明	47
E5CN-PT アドレスの説明	52
E5CN-TC アドレスの説明	57

E5EJ-A アドレスの説明	62
E5GN-PT アドレスの説明	66
E5GN-TC アドレスの説明	71
イベントログメッセージ	76
デバイスエラー。RAM データエラー。 アドレス = '<アドレス>'。	76
デバイスエラー。A/D コンバータエラー。 アドレス = '<アドレス>'。	77
デバイスエラー。センサーエラー。 アドレス = '<アドレス>'。	77
通信エラー。デバイスがローカルモードであるかオートチューニングです。 アドレス = '<アドレス>'。	77
通信エラー。パリティ。 アドレス = '<アドレス>'。	77
通信エラー。フレーミング。 アドレス = '<アドレス>'。	77
通信エラー。レジスタオーバーラン。 アドレス = '<アドレス>'。	78
通信エラー。チェックサム。 アドレス = '<アドレス>'。	78
通信エラー。フォーマット。 アドレス = '<アドレス>'。	78
通信エラー。デバイスがデータを却下しました。 アドレス = '<アドレス>'。	78
デバイスエラー。オーバーフローエラー。 アドレス = '<アドレス>'。	78
デバイスエラー。アンダーフローエラー。 アドレス = '<アドレス>'。	79
エラーマスクの定義	79
索引	79

Omron Process Suite ドライバー

ヘルプバージョン 1.024

目次

概要

Omron Process Suite ドライバー とは

デバイスの設定

このドライバーを使用するためにデバイスを構成する方法

データ型の説明

このドライバーでサポートされるデータ型

アドレスの説明

オムロン温度調節器でデータ位置のアドレスを指定する方法

イベントログメッセージ

このドライバーで生成されるメッセージ

概要

Omron Process Suite ドライバー はオムロン Process Suite コントローラが HMI、SCADA、Historian、MES、ERP や多数のカスタムアプリケーションを含むクライアントアプリケーションに接続するための信頼性の高い手段を提供します。これはオムロン温度調節器で使用するためのものです。

設定

サポートされるデバイス

E5AX-A、E5AX-AH、E5AX-DAA、E5AX-PRR、E5AX-VAA
E5AF-A
E5AJ-A
E5EJ-A
E5CN (熱電対)、E5CN (白金抵抗温度計)
E5GN (熱電対)、E5GN (白金抵抗温度計)

通信 プロトコル

Sysway

サポートされる 通信パラメータ

ボーレート: 300、600、1200、2400、9600
パリティ: 偶数
データビット: 7
ストップビット: 2

●注記: リストされている構成がすべてのデバイスでサポートされるわけではありません。

イーサネットカプセル化

このドライバーではイーサネットカプセル化がサポートされているため、ドライバーはターミナルサーバーを使用してイーサネットネットワークに接続されているシリアルデバイスとの通信が可能です。これはチャンネルのプロパティで設定できます。詳細については、サーバーのヘルプドキュメントを参照してください。

フロー制御

RS232/RS485 コンバータを使用している場合、必要なフロー制御のタイプはコンバータの要件によって異なります。コンバータには、フロー制御を必要としないものと、RTS フローを必要とするものがあります。コンバータのフローの要件については、コンバータのドキュメントを参照してください。自動フロー制御を備えた RS485 コンバータが推奨されます。

●注記: 製造メーカーから供給されている通信ケーブルを使用している場合、チャンネルプロパティでフロー制御の設定として「RTS」または「RTS 常時」を選択する必要があることがあります。

チャンネルのプロパティ - 一般

このサーバーは、複数の通信ドライバーの同時使用をサポートしています。サーバープロジェクトで使用される各プロトコルおよびドライバーをチャンネルと呼びます。サーバープロジェクトは、同じ通信ドライバーまたは一意の通信ドライバーを使用する多数のチャンネルから成ります。チャンネルは、OPC リンクの基本的な構成要素として機能します。このグループは、識別属性や動作モードなどの一般的なチャンネルプロパティを指定するときに使用します。

プロパティグループ	<input type="checkbox"/> 識別	
一般	名前	Channel1
シリアル通信	説明	
書き込み最適化	ドライバー	
詳細	<input type="checkbox"/> 診断	
通信シリアル化	診断取り込み	無効化

識別

「名前」: このチャンネルのユーザー定義の識別情報。各サーバープロジェクトで、それぞれのチャンネル名が一意でなければなりません。名前は最大 256 文字ですが、一部のクライアントアプリケーションでは OPC サーバーのタグ空間をブラウズする際の表示ウィンドウが制限されています。チャンネル名は OPC ブラウザ情報の一部です。チャンネルの作成にはこのプロパティが必要です。

● 予約済み文字の詳細については、サーバーのヘルプで「チャンネル、デバイス、タグ、およびタググループに適切な名前を付ける方法」を参照してください。

「説明」: このチャンネルに関するユーザー定義の情報。

● 「説明」などのこれらのプロパティの多くには、システムタグが関連付けられています。

「ドライバー」: このチャンネルに選択されているプロトコルドライバー。このプロパティでは、チャンネル作成時に選択されたデバイスドライバーが示されます。チャンネルのプロパティではこの設定を変更することはできません。チャンネルの作成にはこのプロパティが必要です。

● 注記: サーバーがオンラインで常時稼働している場合、これらのプロパティをいつでも変更できます。これには、クライアントがデータをサーバーに登録できないようにチャンネル名を変更することも含まれます。チャンネル名を変更する前にクライアントがサーバーからアイテムをすでに取得している場合、それらのアイテムは影響を受けません。チャンネル名が変更された後で、クライアントアプリケーションがそのアイテムを解放し、古いチャンネル名を使用して再び取得しようとしても、そのアイテムは取得されません。このことを念頭において、大規模なクライアントアプリケーションを開発した後はプロパティに対する変更を行わないようにします。サーバー機能へのアクセス権を制限してオペレータがプロパティを変更できないようにするには、ユーザーマネージャを使用します。

診断

「診断取り込み」: このオプションが有効な場合、チャンネルの診断情報が OPC アプリケーションに取り込まれ、allows the usage of statistics tags that provide feedback to client applications regarding the operation of the channel. サーバーの診断機能は最小限のオーバーヘッド処理を必要とするので、必要なときにだけ利用し、必要がないときには無効にしておくことをお勧めします。デフォルトでは無効になっています。

● 注記: ドライバーで診断機能がサポートされていない場合、このプロパティは使用できません。

● 詳細については、サーバーのヘルプの「通信診断」および「統計タグ」を参照してください。

チャンネルのプロパティ - シリアル通信

シリアル通信のプロパティはシリアルドライバーで設定でき、選択されているドライバー、接続タイプ、オプションによって異なります。使用可能なプロパティのスーパーセットを以下に示します。

クリックして[接続タイプ](#)、[シリアルポートの設定](#)、[イーサネット設定](#)、[実行動作](#)のいずれかのセクションにジャンプします。

● 注記: サーバーがオンラインで常時稼働している場合、これらのプロパティをいつでも変更できます。これらのプロパティに対する変更によって通信が一時的に不通になることがあるので、サーバー機能へのアクセス権を制限するには、ユーザーマネージャを使用します。

プロパティグループ	<input type="checkbox"/> 接続タイプ 物理メディア COM ポート 共有 いいえ	
一般	<input type="checkbox"/> シリアルポートの設定 COM ID 3 ボーレート 19200 データビット 8 パリティ なし ストップビット 1 フロー制御 なし	
シリアル通信	<input type="checkbox"/> 実行動作 通信エラーを報告 有効化	
書き込み最適化		
詳細		
通信シリアル化		
リンク設定		

接続タイプ

「物理メディア」: データ通信に使用するハードウェアデバイスのタイプを選択します。オプションには「COM ポート」、「なし」、「モデム」、「イーサネットカプセル化」があります。デフォルトは「COM ポート」です。

- 「なし」: 物理的な接続がないことを示すには「なし」を選択します。これによって通信なしの動作セクションが表示されます。
- 「COM ポート」: シリアルポートの設定セクションを表示して設定するには、「COM ポート」を選択します。
- 「モデム」: 通信に電話回線を使用する場合 (モデム設定セクションで設定)、「モデム」を選択します。
- 「イーサネットカプセル化」: 通信にイーサネットカプセル化を使用する場合に選択します。これによってイーサネット設定セクションが表示されます。
- 「共有」: 現在の構成を別のチャンネルと共有するよう接続が正しく識別されていることを確認します。これは読み取り専用プロパティです。

シリアルポートの設定

「COM ID」: チャンネルに割り当てられているデバイスと通信するときに使用する通信 ID を指定します。有効な範囲は 1 から 9991 から 16 です。デフォルトは 1 です。

「ボーレート」: 選択した通信ポートを設定するときに使用するボーレートを指定します。

「データビット」: データワードあたりのデータビット数を指定します。オプションは 5、6、7、8 です。

「パリティ」: データのパリティのタイプを指定します。オプションには「奇数」、「偶数」、「なし」があります。

「ストップビット」: データワードあたりのストップビット数を指定します。オプションは 1 または 2 です。

「フロー制御」: RTS および DTR 制御回線の利用方法を指定します。一部のシリアルデバイスと通信する際にはフロー制御が必要です。以下のオプションがあります。

- 「なし」: このオプションでは、制御回線はトグル(アサート)されません。
- 「DTR」: このオプションでは、通信ポートが開いてオンのままになっている場合に DTR 回線がアサートされます。
- 「RTS」: このオプションでは、バイトを転送可能な場合に RTS 回線がハイになります。バッファ内のすべてのバイトが送信されると、RTS 回線はローになります。これは通常、RS232/RS485 コンバータハードウェアで使用されます。
- 「RTS、DTR」: このオプションは DTR と RTS を組み合わせたものです。
- 「RTS 常時」: このオプションでは、通信ポートが開いてオンのままになっている場合に、RTS 回線がアサートされます。
- 「RTS 手動」: このオプションでは、「RTS 回線制御」で入力したタイミングプロパティに基づいて RTS 回線がアサートされます。これは、ドライバーが手動による RTS 回線制御をサポートしている場合 (またはプロパティが共有され、このサポートを提供するドライバーに 1 つ以上のチャンネルが属している場合) にものみ使用できます。「RTS 手動」を選択した場合、次のオプションから成る「RTS 回線制御」プロパティが追加されます。
 - 「事前オン」: このプロパティでは、データ転送のどれだけ前に RTS 回線を事前にオンにするかを指定します。有効な範囲は 0 から 9999 ミリ秒です。デフォルトは 10 ミリ秒です。

- ・「**遅延オフ**」: このプロパティでは、データ転送後に RTS 回線をハイのままにする時間を指定します。有効な範囲は 0 から 9999 ミリ秒です。デフォルトは 10 ミリ秒です。
- ・「**ポーリング遅延**」: このプロパティでは、通信のポーリングが遅延する時間を指定します。有効な範囲は 0 から 9999 です。デフォルトは 10 ミリ秒です。

● **ヒント**: 2 回線 RS 485 を使用している場合、通信回線上で "エコー" が発生することがあります。この通信はエコー除去をサポートしていないので、エコーを無効にするか、RS-485 コンバータを使用することをお勧めします。

実行動作

- ・「**通信エラーを報告**」: 低レベル通信エラーに関するレポートを有効または無効にします。オンにした場合、低レベルのエラーが発生するとイベントログに書き込まれます。オフにした場合、通常の要求の失敗は書き込まれますが、これと同じエラーは書き込まれません。デフォルトは「有効化」です。
- ・「**アイドル接続を閉じる**」: チャンネル上のクライアントによっていずれのタグも参照されなくなった場合、接続を閉じます。デフォルトは「有効化」です。
- ・「**クローズするまでのアイドル時間**」: すべてのタグが除去されてから COM ポートを閉じるまでサーバーが待機する時間を指定します。デフォルトは 15 秒です。

イーサネット設定

● **注記**: すべてのシリアルドライバーがイーサネットカプセル化をサポートするわけではありません。このグループが表示されない場合、機能はサポートされていません。

イーサネットカプセル化は、イーサネットネットワーク上のターミナルサーバーに接続しているシリアルデバイスとの通信を可能にします。ターミナルサーバーは基本的には仮想のシリアルポートであり、イーサネットネットワーク上の TCP/IP メッセージをシリアルデータに変換します。メッセージが変換されると、ユーザーはシリアル通信をサポートする標準デバイスをターミナルサーバーに接続可能になります。ターミナルサーバーのシリアルポートが接続先のシリアルデバイスの要件に合うように適切に設定されている必要があります。詳細については、サーバーのヘルプで「イーサネットカプセル化の使用方法」を参照してください。

- ・「**ネットワークアダプタ**」: このチャンネルのイーサネットデバイスがバインドするネットワークアダプタを指定します。バインド先のネットワークアダプタを選択するか、OS がデフォルトを選択可能にします。
 - 一部のドライバーでは追加のイーサネットカプセル化プロパティが表示されることがあります。詳細については、「チャンネルのプロパティ- イーサネットカプセル化」を参照してください。

モデム設定

- ・「**モデム**」: 通信に使用するインストール済みモデムを指定します。
- ・「**接続タイムアウト**」: 接続が確立される際に待機する時間を指定します。この時間を超えると読み取りまたは書き込みが失敗します。デフォルトは 60 秒です。
- ・「**モデムのプロパティ**」: モデムハードウェアを設定します。クリックした場合、ベンダー固有のモデムプロパティが開きます。
- ・「**自動ダイヤル**」: 電話帳内のエントリに自動ダイヤルできます。デフォルトは「無効化」です。詳細については、サーバーのヘルプで「モデム自動ダイヤル」を参照してください。
- ・「**通信エラーを報告**」: 低レベル通信エラーに関するレポートを有効または無効にします。オンにした場合、低レベルのエラーが発生するとイベントログに書き込まれます。オフにした場合、通常の要求の失敗は書き込まれますが、これと同じエラーは書き込まれません。デフォルトは「有効化」です。
- ・「**アイドル接続を閉じる**」: チャンネル上のクライアントによっていずれのタグも参照されなくなった場合、モデム接続を閉じます。デフォルトは「有効化」です。
- ・「**クローズするまでのアイドル時間**」: すべてのタグが除去されてからモデム接続を閉じるまでサーバーが待機する時間を指定します。デフォルトは 15 秒です。

通信なしの動作

- ・「**読み取り処理**」: 明示的なデバイス読み取りが要求された場合の処理を選択します。オプションには「無視」と「失敗」があります。「無視」を選択した場合には何も行われません。「失敗」を選択した場合、失敗したことがクライアントに通知されます。デフォルト設定は「無視」です。

チャンネルのプロパティ- 書き込み最適化

サーバーと同様に、デバイスへのデータの書き込みはアプリケーションの最も重要な要素です。サーバーは、クライアントアプリケーションから書き込まれたデータがデバイスに遅延なく届くようにします。このため、サーバーに用意されている最適化

プロパティを使用して、特定のニーズを満たしたり、アプリケーションの応答性を高めたりできます。

プロパティグループ	<input type="checkbox"/> 書き込み最適化	
一般	最適化方法	すべてのタグの最新の値のみを書き込み
シリアル通信	デューティサイクル	10
書き込み最適化		

書き込み最適化

「**最適化方法**」: 基礎となる通信ドライバーに書き込みデータをどのように渡すかを制御します。以下のオプションがあります。

- 「**すべてのタグのすべての値を書き込み**」: このオプションを選択した場合、サーバーはすべての値をコントローラに書き込もうとします。このモードでは、サーバーは書き込み要求を絶えず収集し、サーバーの内部書き込みキューにこれらの要求を追加します。サーバーは書き込みキューを処理し、デバイスにできるだけ早くデータを書き込むことによって、このキューを空にしようとする。このモードでは、クライアントアプリケーションから書き込まれたすべてのデータがターゲットデバイスに送信されます。ターゲットデバイスで書き込み操作の順序または書き込みアイテムのコンテンツが一意に表示される必要がある場合、このモードを選択します。
- 「**非 Boolean タグの最新の値のみを書き込み**」: デバイスにデータを実際に送信するのに時間がかかっているために、同じ値への多数の連続書き込みが書き込みキューに累積することがあります。書き込みキューにすでに置かれている書き込み値をサーバーが更新した場合、同じ最終出力値に達するまでに必要な書き込み回数ははるかに少なくなります。このようにして、サーバーのキューに余分な書き込みが累積することがなくなります。ユーザーがスライドスイッチを動かすのをやめると、ほぼ同時にデバイス内の値が正確な値になります。モード名からもわかるように、Boolean 値でない値はサーバーの内部書き込みキュー内で更新され、次の機会にデバイスに送信されます。これによってアプリケーションのパフォーマンスが大幅に向上します。
 - **注記**: このオプションを選択した場合、Boolean 値への書き込みは最適化されません。モーメンタリプッシュボタンなどの Boolean 操作で問題が発生することなく、HMI データの操作を最適化できます。
- 「**すべてのタグの最新の値のみを書き込み**」: このオプションを選択した場合、2 つ目の最適化モードの理論がすべてのタグに適用されます。これはアプリケーションが最新の値だけをデバイスに送信する必要がある場合に特に役立ちます。このモードでは、現在書き込みキューに入っているタグを送信する前に更新することによって、すべての書き込みが最適化されます。これがデフォルトのモードです。

「**デューティサイクル**」: 読み取り操作に対する書き込み操作の比率を制御するときに使用します。この比率は必ず、読み取り 1 回につき書き込みが 1 から 10 回の間であることが基になっています。デューティサイクルはデフォルトで 10 に設定されており、1 回の読み取り操作につき 10 回の書き込みが行われます。アプリケーションが多数の連続書き込みを行っている場合でも、読み取りデータを処理する時間が確実に残っている必要があります。これを設定すると、書き込み操作が 1 回行われるたびに読み取り操作が 1 回行われるようになります。実行する書き込み操作がない場合、読み取りが連続処理されます。これにより、連続書き込みを行うアプリケーションが最適化され、データの送受信フローがよりパランスのとれたものとなります。

● **注記**: 本番環境で使用する前に、強化された書き込み最適化機能との互換性が維持されるようにアプリケーションのプロパティを設定することをお勧めします。

チャンネルのプロパティ - 詳細

このグループは、チャンネルの詳細プロパティを指定するときに使用します。すべてのドライバーがすべてのプロトコルをサポートしているわけではないので、サポートしていないデバイスには詳細グループが表示されません。

プロパティグループ	<input type="checkbox"/> 非正規化浮動小数点処理	
一般	浮動小数点値	ゼロで置換
シリアル通信	<input type="checkbox"/> デバイス間遅延	
書き込み最適化	デバイス間遅延 (ミリ秒)	0
詳細		
通信シリアル化		

「**非正規化浮動小数点処理**」: 非正規化値は無限、非数 (NaN)、または非正規化数として定義されます。デフォルトは「ゼロで置換」です。ネイティブの浮動小数点処理が指定されているドライバーはデフォルトで「未修正」になります。「非正規化浮動小数点処理」では、ドライバーによる非正規化 IEEE-754 浮動小数点データの処理方法を指定できます。オプションの説明は次のとおりです。

- 「**ゼロで置換**」: このオプションを選択した場合、ドライバーが非正規化 IEEE-754 浮動小数点値をクライアントに転送する前にゼロで置き換えることができます。
- 「**未修正**」: このオプションを選択した場合、ドライバーは IEEE-754 非正規化、正規化、非数、および無限の値を変換または変更せずにクライアントに転送できます。

● **注記**: ドライバーが浮動小数点値をサポートしていない場合や、表示されているオプションだけをサポートする場合、このプロパティは使用できません。チャンネルの浮動小数点正規化の設定に従って、リアルタイムのドライバータグ (値や配列など) が浮動小数点正規化の対象となります。たとえば、EFM データはこの設定の影響を受けません。

● 浮動小数点値の詳細については、サーバーのヘルプで「非正規化浮動小数点値を使用する方法」を参照してください。

「**デバイス間遅延**」: 通信チャンネルが同じチャンネルの現在のデバイスからデータを受信した後、次のデバイスに新しい要求を送信するまで待機する時間を指定します。ゼロ (0) を指定すると遅延は無効になります。

● **注記**: このプロパティは、一部のドライバー、モデル、および依存する設定では使用できません。

デバイスのプロパティ - 一般

デバイスは、通信チャンネル上の 1 つのターゲットを表します。ドライバーが複数のコントローラをサポートしている場合、ユーザーは各コントローラのデバイス ID を入力する必要があります。

Property Groups	Identification	
General	Name	
Scan Mode	Description	
	Channel Assignment	
	Driver	
	Model	
	ID Format	Decimal
	ID	2

識別

「**名前**」: このプロパティでは、デバイスの名前を指定します。これは最大 256 文字のユーザー定義の論理名であり、複数のチャンネルで使用できます。

● **注記**: わかりやすい名前にすることを一般的にはお勧めしますが、一部の OPC クライアントアプリケーションでは OPC サーバーのタグ空間をブラウズする際の表示ウィンドウが制限されています。デバイス名とチャンネル名はブラウズツリー情報の一部にもなります。OPC クライアント内では、チャンネル名とデバイス名の組み合わせが "<チャンネル名>.<デバイス名>" として表示されます。

● 詳細については、サーバーのヘルプで「チャンネル、デバイス、タグ、およびタググループに適切な名前を付ける方法」を参照してください。

「**説明**」: このデバイスに関するユーザー定義の情報。

● 「説明」などのこれらのプロパティの多くには、システムタグが関連付けられています。

「**チャンネル割り当て**」: このデバイスが現在属しているチャンネルのユーザー定義の名前。

「**ドライバー**」: このデバイスに設定されているプロトコルドライバー。

「**モデル**」: このプロパティでは、この ID に関連付けられるデバイスのタイプを指定します。このドロップダウンメニューの内容は、使用されている通信ドライバーのタイプによって異なります。ドライバーによってサポートされていないモデルは無効になります。通信ドライバーが複数のデバイスモデルをサポートしている場合、デバイスにクライアントアプリケーションが 1 つも接続していない場合にのみモデル選択を変更できます。

● **注記**: 通信ドライバーが複数のモデルをサポートしている場合、ユーザーは物理デバイスに合わせてモデルを選択する必要があります。このドロップダウンメニューにデバイスが表示されない場合、ターゲットデバイスに最も近いモデルを選択します。一部のドライバーは "オープン" と呼ばれるモデル選択をサポートしており、ユーザーはターゲットデバイスの詳細を知らなくても通信できます。詳細については、ドライバーのヘルプドキュメントを参照してください。

「ID」: このプロパティでは、デバイスのドライバー固有のステーションまたはノードを指定します。入力する ID のタイプは、使用されている通信ドライバーによって異なります。多くの通信ドライバーでは、ID は数値です。数値 ID をサポートするドライバーでは、ユーザーは数値を入力でき、そのフォーマットはアプリケーションのニーズまたは選択した通信ドライバーの特性に合わせて変更できます。フォーマットはデフォルトではドライバーによって設定されます。オプションには「10 進数」、「8 進数」、「16 進数」があります。

● **注記:** ドライバーがイーサネットベースであるか、通常とは異なるステーションまたはノード名をサポートしている場合、デバイスの TCP/IP アドレスをデバイス ID として使用できます。TCP/IP アドレスはピリオドで区切った 4 つの値から成り、各値の範囲は 0 から 255 です。一部のデバイス ID は文字列ベースです。ドライバーによっては、ID フィールドで追加のプロパティを設定する必要があります。詳細については、ドライバーのヘルプドキュメントを参照してください。

動作モード

Property Groups	+ Identification	
General	- Operating Mode	
Scan Mode	Data Collection	Enable
	Simulated	No

「データコレクション」: このプロパティでは、デバイスのアクティブな状態を制御します。デバイスの通信はデフォルトで有効になっていますが、このプロパティを使用して物理デバイスを無効にできます。デバイスが無効になっている場合、通信は試みられません。クライアントから見た場合、そのデータは無効としてマークされ、書き込み操作は許可されません。このプロパティは、このプロパティまたはデバイスのシステムタグを使用していつでも変更できます。

「シミュレーション」: このオプションは、デバイスをシミュレーションモードにします。このモードでは、ドライバーは物理デバイスとの通信を試みませんが、サーバーは引き続き有効な OPC データを返します。シミュレーションモードではデバイスとの物理的な通信は停止しますが、OPC データは有効なデータとして OPC クライアントに返されます。シミュレーションモードでは、サーバーはすべてのデバイスデータを自己反映的データとして扱います。つまり、シミュレーションモードのデバイスに書き込まれたデータはすべて再び読み取られ、各 OPC アイテムは個別に処理されます。アイテムのメモリマップはグループ更新レートに基づきます。(サーバーが再初期化された場合などに) サーバーがアイテムを除去した場合、そのデータは保存されません。デフォルトは「いいえ」です。

● 注記:

1. システムタグ (_ Simulated) は読み取り専用であり、ランタイム保護のため、書き込みは禁止されています。このシステムタグを使用することで、このプロパティをクライアントからモニターできます。
2. シミュレーションモードでは、アイテムのメモリマップはクライアントの更新レート (OPC クライアントではグループ更新レート、ネイティブおよび DDE インタフェースではスキャン速度) に基づきます。つまり、異なる更新レートで同じアイテムを参照する 2 つのクライアントは異なるデータを返します。

● シミュレーションモードはテストとシミュレーションのみを目的としています。本番環境では決して使用しないでください。

デバイスのプロパティ - スキャンモード

「スキャンモード」では、デバイスとの通信を必要とする、サブスクリプション済みクライアントが要求したタグのスキャン速度を指定します。同期および非同期デバイスの読み取りと書き込みは可能な限りただちに処理され、「スキャンモード」のプロパティの影響を受けません。

プロパティグループ	- スキャンモード	
一般	スキャンモード	クライアント固有のスキャン速度を適用 ▼
スキャンモード	キャッシュからの初回更新	無効化
タイミング		

「スキャンモード」: 購読しているクライアントに送信される更新についてデバイス内のタグをどのようにスキャンするかを指定します。オプションの説明は次のとおりです。

- 「クライアント固有のスキャン速度を適用」: このモードでは、クライアントによって要求されたスキャン速度を使用します。
 - 「指定したスキャン速度以下でデータを要求」: このモードでは、最大スキャン速度として設定されている値を指定します。有効な範囲は 10 から 99999990 ミリ秒です。デフォルトは 1000 ミリ秒です。
- **注記:** サーバーにアクティブなクライアントがあり、デバイスのアイテム数とスキャン速度の値が増加している場

合、変更はただちに有効になります。スキャン速度の値が減少している場合、すべてのクライアントアプリケーションが切斷されるまで変更は有効になりません。

- ・「すべてのデータを指定したスキャン速度で要求」: このモードでは、指定した速度で購読済みクライアント用にタグがスキャンされます。有効な範囲は 10 から 99999990 ミリ秒です。デフォルトは 1000 ミリ秒です。
- ・「スキャンしない、要求ポールのみ」: このモードでは、デバイスに属するタグは定期的にポーリングされず、アクティブになった後はアイテムの初期値の読み取りは実行されません。更新のポーリングは、_DemandPoll タグに書き込むか、個々のアイテムについて明示的なデバイス読み取りを実行することによって、クライアントが行います。詳細については、サーバーのヘルプで「デバイス要求ポール」を参照してください。
- ・「タグに指定のスキャン速度を適用」: このモードでは、静的構成のタグプロパティで指定されている速度で静的タグがスキャンされます。動的タグはクライアントが指定したスキャン速度でスキャンされます。

「キャッシュからの初回更新」: このオプションを有効にした場合、サーバーは保存 (キャッシュ) されているデータから、新たにアクティブ化されたタグ参照の初回更新を行います。キャッシュからの更新は、新しいアイテム参照が同じアドレス、スキャン速度、データ型、クライアントアクセス、スケール設定のプロパティを共有している場合にのみ実行できます。1 つ目のクライアント参照についてのみ、初回更新にデバイス読み取りが使用されます。デフォルトでは無効になっており、クライアントがタグ参照をアクティブ化したときにはいつでも、サーバーがデバイスから初期値の読み取りを試みます。

デバイスのプロパティ - タイミング

デバイスのタイミングのプロパティでは、エラー状態に対するデバイスの応答をアプリケーションのニーズに合わせて調整できます。多くの場合、最適なパフォーマンスを得るためにはこれらのプロパティを変更する必要があります。電氣的に発生するノイズ、モデムの遅延、物理的な接続不良などの要因が、通信ドライバーで発生するエラーやタイムアウトの数に影響します。タイミングのプロパティは、設定されているデバイスごとに異なります。

プロパティグループ	<input type="checkbox"/> 通信タイムアウト	
一般	要求のタイムアウト (ミリ秒)	5000
スキャンモード	再試行回数	3
タイミング	<input type="checkbox"/> タイミング	
自動格下げ	要求間遅延 (ミリ秒)	0

通信タイムアウト

「接続タイムアウト」: このプロパティ (イーサネットベースのドライバーで主に使用) は、リモートデバイスとのソケット接続を確立するために必要な時間を制御します。デバイスの接続時間は、同じデバイスへの通常の通信要求よりも長くかかることがよくあります。有効な範囲は 1 から 30 秒です。デフォルトは通常は 3 秒ですが、各ドライバーの特性によって異なる場合があります。この設定がドライバーでサポートされていない場合、無効になります。

● 注記: UDP 接続の特性により、UDP を介して通信する場合には接続タイムアウトの設定は適用されません。

「要求のタイムアウト」: このプロパティでは、ターゲットデバイスからの応答を待つのをいつやめるかを判断する際にすべてのドライバーが使用する間隔を指定します。有効な範囲は 50 から 9,999,999 ミリ秒 (167.6667 分) です。デフォルトは通常は 1000 ミリ秒ですが、ドライバーによって異なる場合があります。ほとんどのシリアルドライバーのデフォルトのタイムアウトは 9600 ボー以上 のボーレートに基づきます。低いボーレートでドライバーを使用している場合、データの取得に必要な時間が増えることを補うため、タイムアウト時間を増やします。

「タイムアウト前の試行回数」: このプロパティでは、ドライバーが通信要求を発行する回数を指定します。この回数を超えると、要求が失敗してデバイスがエラー状態にあると見なされます。有効な範囲は 1 から 10 です。デフォルトは通常は 3 ですが、各ドライバーの特性によって異なる場合があります。アプリケーションに設定される試行回数は、通信環境に大きく依存します。このプロパティは、接続の試行と要求の試行の両方に適用されます。

タイミング

「要求間遅延」: このプロパティでは、ドライバーがターゲットデバイスに次の要求を送信するまでの待ち時間を指定します。デバイスに関連付けられているタグおよび 1 回の読み取りと書き込みの標準のポーリング間隔がこれによってオーバーライドされます。この遅延は、応答時間が長いデバイスを扱う際や、ネットワークの負荷が問題である場合に役立ちます。デバイスの遅延を設定すると、そのチャンネル上のその他すべてのデバイスとの通信に影響が生じます。可能な場合、要求間遅延を必要とするデバイスは別々のチャンネルに分けて配置することをお勧めします。その他の通信プロパティ (通信シリアル化など) によってこの遅延が延長されることがあります。有効な範囲は 0 から 300,000 ミリ秒ですが、一部のドライバーでは独自の設計の目的を果たすために最大値が制限されている場合があります。デフォルトは 0 であり、ターゲットデバイスへの要求間に遅延はありません。

● 注記: すべてのドライバーで「要求間遅延」がサポートされているわけではありません。使用できない場合にはこの設定は表示されません。

デバイスのプロパティ - 自動格下げ

自動格下げのプロパティを使用することで、デバイスが応答していない場合にそのデバイスを一時的にスキャン停止にできます。応答していないデバイスを一定期間オフラインにすることで、ドライバーは同じチャンネル上のほかのデバイスとの通信を引き続き最適化できます。停止期間が経過すると、ドライバーは応答していないデバイスとの通信を再試行します。デバイスが応答した場合はスキャンが開始され、応答しない場合はスキャン停止期間が再開します。

プロパティグループ	<input type="checkbox"/> 自動格下げ	
一般	エラー時に格下げ	有効化
スキャンモード	格下げまでのタイムアウト回数	3
タイミング	格下げ期間 (ミリ秒)	10000
自動格下げ	格下げ時に要求を破棄	無効化

「エラー時に格下げ」: 有効にした場合、デバイスは再び応答するまで自動的にスキャン停止になります。

● ヒント: システムタグ `_AutoDemoted` を使用して格下げ状態をモニターすることで、デバイスがいつスキャン停止になったかを把握できます。

「格下げまでのタイムアウト回数」: デバイスをスキャン停止にするまでに要求のタイムアウトと再試行のサイクルを何回繰り返すかを指定します。有効な範囲は 1 から 30 回の連続エラーです。デフォルトは 3 です。

「格下げ期間」: タイムアウト値に達したときにデバイスをスキャン停止にする期間を指定します。この期間中、そのデバイスには読み取り要求が送信されず、その読み取り要求に関連するすべてのデータの品質は不良に設定されます。この期間が経過すると、ドライバーはそのデバイスのスキャンを開始し、通信での再試行が可能になります。有効な範囲は 100 から 3600000 ミリ秒です。デフォルトは 10000 ミリ秒です。

「格下げ時に要求を破棄」: スキャン停止期間中に書き込み要求を試行するかどうかを選択します。格下げ期間中も書き込み要求を必ず送信するには、無効にします。書き込みを破棄するには有効にします。サーバーはクライアントから受信した書き込み要求をすべて自動的に破棄し、イベントログにメッセージを書き込みません。

デバイスのプロパティ - 冗長

プロパティグループ	<input type="checkbox"/> 冗長	
一般	セカンダリパス	
スキャンモード	動作モード	障害時に切り替え
タイミング	モニターアイテム	
冗長	モニター間隔 (秒)	300
	できるだけ速やかにプライマリに...	はい

冗長設定はメディアレベルの冗長プラグインで使用できます。

● 詳細については、Web サイトまたはユーザーマニュアルを参照するか、営業担当者までお問い合わせください。

データ型の説明

データ型	説明
Boolean	1 ビット
Word	符号なし 16 ビット値 ビット 0 が下位ビット ビット 15 が上位ビット
Short	符号付き 16 ビット値 ビット 0 が下位ビット ビット 14 が上位ビット ビット 15 が符号ビット

データ型	説明
DWord	符号なし 32 ビット値 ビット 0 が下位ビット ビット 31 が上位ビット
Long	符号付き 32 ビット値 ビット 0 が下位ビット ビット 30 が上位ビット ビット 31 が符号ビット
Float	32 ビット浮動小数点値。 ドライバーは 2 つ目のレジスタを上位 Word、1 つ目のレジスタを下位 Word とすることで、連続する 2 つの 16 ビットレジスタを浮動小数点値として解釈します。

アドレスの説明

このドライバーでは次のモデルがサポートされています。

[E5AF-A](#)
[E5AF-AH](#)
[E5AJ-A](#)
[E5AX-A](#)
[E5AX-AH](#)
[E5AX-DAA](#)
[E5AX-PRR](#)
[E5AX-VAA](#)
[E5CN-PT](#)
[E5CN-TC](#)
[E5EJ-A](#)
[E5GN-PT](#)
[E5GN-TC](#)

● 注記:

1. E5CN-PT は白金抵抗温度計用です。実際のモデル番号は異なる場合があります。
2. E5CN-TC は熱電対用です。実際のモデル番号は異なる場合があります。
3. E5GN-PT は白金抵抗温度計用です。実際のモデル番号は異なる場合があります。
4. E5GN-TC は熱電対用です。実際のモデル番号は異なる場合があります。

E5AF-A アドレスの説明

デフォルトのデータ型を太字で示しています。

ニーモニック	説明	データ型	アクセス
AL-1	アラーム 1 の設定温度。 (-999-9999 度 TC)*(-99.9-999.9 度 Pt)	Float 、 DWord、 Long	読み取り書

ニ一モニツク	説明	データ型	アクセス
			き込み
AL-1-MD	アラーム 1 の動作モード。* (0-9)	Short、Word	読み取り専用
AL-1-OUT	アラーム 1 の出カステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
AL-2	アラーム 2 の設定温度。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt)	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
AL-2-MD	アラーム 2 の動作モード。* (0-9)	Short、Word	読み取り専用
AL-2-OUT	アラーム 2 の出カステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
AT	オートチューニングが進行中。 ATを開始するには TRUE を書き込みます。 ATを停止するには FALSE を書き込みます。 ATはデバイスがオートチューニングプロシーヂャを完了するまで(またはユーザーがこれを終了するまで) TRUE のままとります。 オートチューニング中はドライバーはAT=FALSE 以外の書き込みコマンドを受け入れません。	Bool	読み取り書き込み
BACKUP	不揮発性メモリにRAMをバックアップします。 書き込み: 何かを書き込むとバックアッププロシーヂャが開始します。 読み取り: TRUE = 不揮発性メモリが最新ではありません。 FALSE = 不揮発性メモリが最新です。 ● 注記: バックアップ中、デバイスは約 500 ミリ秒間応答しなくなります。	Bool	読み取り書き込み

二一モニック	説明	データ型	アクセス
BURNOUT	ヒーターの焼損が検出されました。 TRUE = ヒーターの焼損が検出されました FALSE = ヒーターは問題ありません	Bool	読み取り専用
CTR-MD	制御の動作モード。* TRUE = "オン/オフ" FALSE = "2 自由度の PID"	Bool	読み取り専用
D	微分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、Word	読み取り書き込み
DSPL-UNIT	表示単位。* TRUE = °F FALSE = °C	Bool	読み取り専用
FU	ファジー強度。 (0-99%)	Short、Word	読み取り書き込み
FU-S-1	ファジースケール 1。 (0.2-999.9 度)	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
FU-S-2	ファジースケール 2。 (0.2-99.9 度)	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
I	積分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、Word	読み取

モニター	説明	データ型	アクセス
			書き込み
IN-S	入カシフトの設定値。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt)	Float、 DWord、 Long	読み取り 書き込み
IN-S_DSPL	入カシフトの表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
IN-T	入力 (センサー) のタイプ。* (0-9)	Short、 Word	読み取り専用
INITIALSTATUS	初期ステータスタグ INITIALSTATUS の値については、以下の図を参照してください。 注記: INITIALSTATUS の値は、初回のデバイスセットアップ通信時および以下のアドレスを読み取る際に読み取られます。 AL-1-MD AL-2-MD CTR-MD DSPL-UNIT IN-S_DSPL IN-T O-TYPE O-OP PID-DSPL	Short、 Word	読み取り専用
O	出力の値。 (0.0-100.0%)	Float、 DWord、 Long	読み取り専用
O-TYPE	出力のタイプ。* TRUE = 電流 FALSE = パルス	Bool	読み取り専用

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
O-OP	出力の動作モード。* TRUE = 標準 (冷却) FALSE = 逆 (加熱)	Bool	読み取り専用
P	比例帯の設定値。 (0.0-999.9 度)	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
PID-DSPL	PID の表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
PV	プロセス値 (測定温度)。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt) ● 注記: ハードウェアのステータス情報は PV 値とともにドライバーに渡されるため、このメモリ位置がモニターされていることが重要です。ハードウェアの故障が発生した場合 (デバイスの故障、ヒーターの焼損、センサーの故障)、それは PV の読み取り操作中にのみドライバーによって検出されて報告されます。	Float、DWord、Long	読み取り専用
RAM-MD	RAM モードが有効かどうか。 TRUE = RAM モード FALSE = バックアップモード 不揮発性メモリの消費を防止するため、ドライバーは自動的にデバイスを RAM モードに切り替えます。ユーザーは BACKUP コマンドを実行することで RAM のコンテンツをバックアップできます。 ● 注記: デバイスのフロントパネルで "リモートモード" が選択されていない場合、ドライバーはデバイスを自動的に RAM モードに切り替えることができません。RMT ボタンと RMT ステータスインジケータはフロントパネルにあります。	Bool	読み取り専用
REMOTE	リモートモードが有効かどうか。 TRUE = デバイスはリモートモード FALSE = デバイスはローカルモード デバイスのフロントパネルでリモートモードが選択されていないかぎり、ドライバーはデバイスに書き込むことができません。	Bool	読み取り専用
SL-H	設定ポイントの上限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用

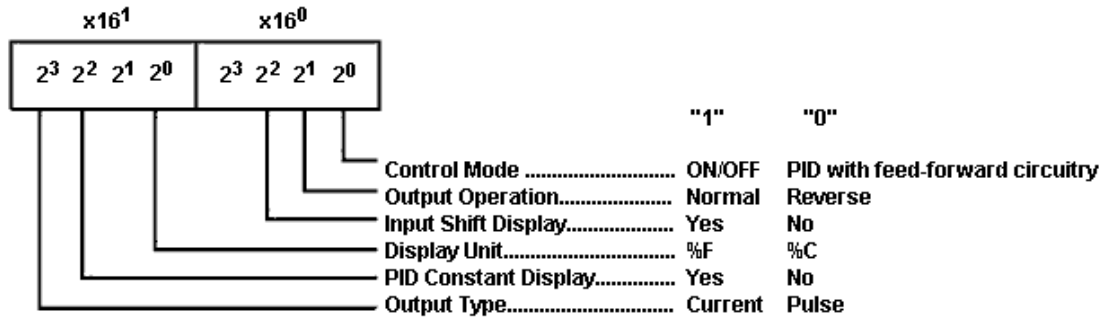
モニタリング	説明	データ型	アクセス
			用
SL-L	設定ポイントの下限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SP-S-IN	設定ポイントのシフト入力の状態。 TRUE = シフトが有効 FALSE = シフトが無効 デバイス上の該当する端子を短絡すると状態は TRUE になります。	Bool	読み取り専用
SV	温度の設定値。 設定範囲: SL-L-SL-H	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
ADCERR	A/D コンバータのエラー/故障	Boolean	読み取り専用
SENSERR	異常入力/センサーエラー	Boolean	読み取り専用
RAMERR	RAM データエラー	Boolean	読み取り専用

*これはハードウェア設定です。詳細については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

**この値はデバイスのフロントパネルで設定する必要があります。有効な範囲については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

● **注記:** TC は熱電対タイプのセンサーの温度範囲を示しています。Pt は白金抵抗温度計タイプのセンサーの温度範囲を示しています。示されている温度範囲はすべて、華氏 (F) と摂氏 (C) で同じ数値になります。

INITIALSTATUS の値のフォーマット



E5AF-AH アドレスの説明

デフォルトのデータ型を太字で示しています。

ニーモニック	説明	データ型	アクセス
AL-1	アラーム 1 の設定温度。 (-999-9999 度 TC)*(-99.9-999.9 度 Pt)	Float 、 DWord、 Long	読み取り 書き込み
AL-1-MD	アラーム 1 の動作モード。* (0-9)	Short 、 Word	読み取り 専用
AL-1-OUT	アラーム 1 の出力ステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り 専用
AT	オートチューニングが進行中。 ATを開始するには TRUE を書き込みます。 ATを停止するには FALSE を書き込みます。 ATはデバイスがオートチューニングプロシージャを完了するまで(またはユーザーがこれを終了するまで) TRUE のままとなります。 オートチューニング中はドライバーはAT=FALSE 以外の書き込みコマンドを受け入れません。	Bool	読み取り 書き込み
BACKUP	不揮発性メモリに RAM をバックアップします。 書き込み: 何かを書き込むとバックアッププロシージャが開始します 読み取り: TRUE = 不揮発性メモリが最新ではありません。 FALSE = 不揮発性メモリが最新です。	Bool	読み取り 書き込み

ニ一モニツク	説明	データ型	アクセス
	●注記: バックアップ中、デバイスは約 500 ミリ秒間応答しなくなります。		
BURNOUT	ヒーターの焼損が検出されました。 TRUE = ヒーターの焼損が検出されました FALSE = ヒーターは問題ありません	Bool	読み取り専用
CT	ヒーターの電流。 (0.0-50 A)	Float、 DWord、 Long	読み取り専用
CTR-MD	制御の動作モード。* TRUE = "オン/オフ" FALSE = "2 自由度の PID"	Bool	読み取り専用
D	微分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、 Word	読み取り書き込み
DSPL-UNIT	表示単位。* TRUE = °F FALSE = °C	Bool	読み取り専用
FU	(0-99%) ファジー強度。	Short、 Word	読み取り書き込み
FU-S-1	ファジースケール 1。 (0.2-999.9 度)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
FU-S-2	ファジースケール 2。 (0.2-99.9 度)	Float、 DWord、 Long	読み取り

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
			書き込み
HB	ヒーター焼損の設定温度。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
I	積分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、 Word	読み取り書き込み
IN-S	入力シフトの設定値。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
IN-S_DSPL	入力シフトの表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
IN-T	入力 (センサー) のタイプ。* (0-9)	Short、 Word	読み取り専用
INITIALSTATUS	初期ステータスタグ INITIALSTATUS の値については、以下の図を参照してください。 ● 注記: INITIALSTATUS の値は、初回のデバイスセットアップ通信時および以下のアドレスを読み取る際に読み取られます。 AL-1-MD CTR-MD DSPL-UNIT IN-S_DSPL IN-T O-TYPE O-OP	Short、 Word	読み取り専用

ニーモニック	説明	データ型	アクセス
	PID-DSPL		
O	出力の値。 (0.0-100.0%)	Float、 DWord、 Long	読み取り専用
O-TYPE	出力のタイプ。* TRUE = 電流 FALSE = パルス	Bool	読み取り専用
O-OP	出力の動作モード。* TRUE = 標準 (冷却) FALSE = 逆 (加熱)	Bool	読み取り専用
P	比例帯の設定値。 (0.0-999.9 度)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
PID-DSPL	PID の表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
PV	プロセス値 (測定温度)。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt) ● 注記: ハードウェアのステータス情報は PV 値とともにドライバーに渡されるため、このメモリ位置がモニターされていることが重要です。ハードウェアの故障が発生した場合 (デバイスの故障、ヒーターの焼損、センサーの故障)、それは PV の読み取り操作中にのみドライバーによって検出されて報告されます。	Float、 DWord、 Long	読み取り専用
RAM-MD	RAM モードが有効かどうか。 TRUE = RAM モード FALSE = バックアップモード 不揮発性メモリの消費を防止するため、ドライバーは自動的にデバイスを RAM モードに切り替えます。ユーザーは BACKUP コマンドを実行することで RAM のコンテンツをバックアップできます。 ● 注記: デバイスのフロントパネルで "リモートモード" が選択されていない場合、ドライバーはデバイスを自動的に RAM モードに切り替えることができません。	Bool	読み取り専用

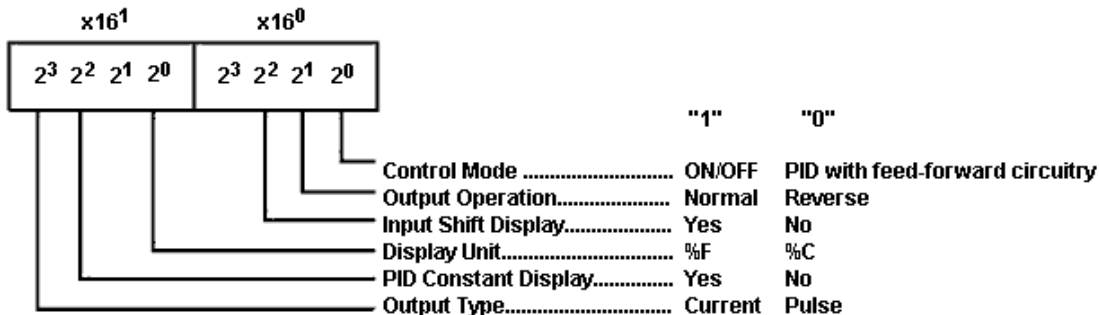
二一モニック	説明	データ型	アクセス
	RMT ボタンとRMT ステータスインジケータはフロントパネルにあります。		
REMOTE	リモートモードが有効かどうか。 TRUE = デバイスはリモートモード FALSE = デバイスはローカルモード デバイスのフロントパネルでリモートモードが選択されていないかぎり、ドライバーはデバイスに書き込むことができません。	Bool	読み取り専用
SL-H	設定ポイントの上限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SL-L	設定ポイントの下限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SP-S-IN	設定ポイントのシフト入力の状態。 TRUE = シフトが有効 FALSE = シフトが無効 デバイス上の該当する端子を短絡すると状態は TRUE になります。	Bool	読み取り専用
SV	設定値の温度。 設定範囲: SL-L-SL-H。	Float、DWord、Long	読み取り/書き込み
ADCERR	A/D コンバータのエラー/故障	Boolean	読み取り専用
SENSERR	異常入力/センサーエラー	Boolean	読み取り専用
RAMERR	RAM データエラー	Boolean	読み取り専用

*これはハードウェア設定です。詳細については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

**この値はデバイスのフロントパネルで設定する必要があります。有効な範囲については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

● **注記:** TC は熱電対タイプのセンサーの温度範囲を示しています。Pt は白金抵抗温度計タイプのセンサーの温度範囲を示しています。示されている温度範囲はすべて、華氏 (F) と摂氏 (C) で同じ数値になります。

INITIALSTATUS の値のフォーマット



E5AJ-A アドレスの説明

デフォルトのデータ型を太字で示しています。

ニーモニック	説明	データ型	アクセス
AL-1	アラーム 1 の設定温度。 (-1999-9999 度 TC)*(-199.9-999.9 度 Pt)	Float 、 DWord、 Long	読み取り 書き込み
AL-1-MD	アラーム 1 の動作モード。* (0-9)	Short 、 Word	読み取り専用
AL-1-OUT	アラーム 1 の出カステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
AL-2	アラーム 2 の設定温度。 (-1999-9999 度 TC) (-199.9-999.9 度 Pt)	Float 、 DWord、 Long	読み取り 書き込み
AL-2-MD	アラーム 2 の動作モード。* (0-9)	Short 、 Word	読み取り

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
			専用
AL-2-OUT	アラーム 2 の出力ステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
BACKUP	不揮発性メモリに RAM をバックアップします。 書き込み: 何かを書き込むとバックアッププロセスが開始します。 読み取り: TRUE = 不揮発性メモリが最新ではありません。 FALSE = 不揮発性メモリが最新です。 ● 注記: バックアップ中、デバイスは約 500 ミリ秒間応答しなくなります。	Bool	読み取り書き込み
BURNOUT	ヒーターの焼損が検出されました。 TRUE = ヒーターの焼損が検出されました FALSE = ヒーターは問題ありません	Bool	読み取り専用
CT	ヒーターの電流。 (0.2-50.0 A)	Float、DWord、Long	読み取り専用
CTR-MD	制御の動作モード。* TRUE = "オン/オフ" FALSE = "2 自由度の PID"	Bool	読み取り専用
D	微分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、Word	読み取り書き込み
DSPL-UNIT	表示単位。* TRUE = °F FALSE = °C	Bool	読み取り専用
HB	ヒーター焼損の設定温度。 (-1999-9999 度 TC)	Float、DWord、Long	読み取り

モニタリング	説明	データ型	アクセス
	(-199.9-999.9 度 Pt)		書き込み
I	積分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、Word	読み取り書き込み
IN-S_DSPL	入力シフトの表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
IN-T	入力 (センサー) のタイプ。* (0-9)	Short、Word	読み取り専用
INITIALSTATUS	初期ステータスタグ INITIALSTATUS の値については、以下の図を参照してください。 ● 注記: INITIALSTATUS の値は、初回のデバイスセットアップ通信時および以下のアドレスを読み取る際に読み取られます。 AL-1-MD AL-2-MD CTR-MD DSPL-UNIT IN-S_DSPL IN-T O-TYPE O-OP PID-DSPL	Short、Word	読み取り専用
O	出力の値。 (0.0-100.0%)	Float、DWord、Long	読み取り専用
O-TYPE	出力のタイプ。* TRUE = 電流 FALSE = パルス	Bool	読み取り専用

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
O-OP	出力の動作モード。* TRUE = 標準 (冷却) FALSE = 逆 (加熱)	Bool	読み取り専用
P	比例帯の設定値。 (0.0-999.9 度)	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
PID-DSPL	PID の表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
PV	プロセス値 (測定温度)。 (-1999-9999 度 TC) (-199.9-999.9 度 Pt) ● 注記: ハードウェアのステータス情報は PV 値とともにドライバーに渡されるため、このメモリ位置がモニターされていることが重要です。ハードウェアの故障が発生した場合 (デバイスの故障、ヒーターの焼損、センサーの故障)、それは PV の読み取り操作中にのみドライバーによって検出されて報告されます。	Float、DWord、Long	読み取り専用
RAM-MD	RAM モードが有効かどうか。 TRUE = RAM モード FALSE = バックアップモード 不揮発性メモリの消耗を防止するため、ドライバーは自動的にデバイスを RAM モードに切り替えます。ユーザーは BACKUP コマンドを実行することで RAM のコンテンツをバックアップできます。 ● 注記: デバイスのフロントパネルで "リモートモード" が選択されていない場合、ドライバーはデバイスを自動的に RAM モードに切り替えることができません。RMT ボタンと RMT ステータスインジケータはフロントパネルにあります。	Bool	読み取り専用
REMOTE	リモートモードが有効かどうか。 TRUE = デバイスはリモートモード FALSE = デバイスはローカルモード デバイスのフロントパネルでリモートモードが選択されていないかぎり、ドライバーはデバイスに書き込むことができません。	Bool	読み取り専用
SP-S-IN	設定ポイントのシフト入力の状態。 TRUE = シフトが有効 FALSE = シフトが無効	Bool	読み取り専用

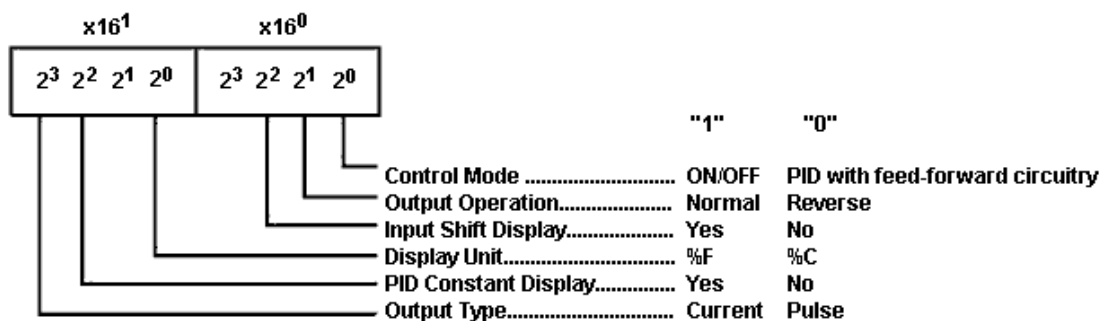
モニタリング	説明	データ型	アクセス
	デバイス上の該当する端子を短絡すると状態は TRUE になります。		用
SV	設定値の温度。 (設定範囲: SL-L-SL-H)	Float、 DWord、 Long	読み取り 書き込み
ADCERR	A/D コンバータのエラー/故障	Boolean	読み取り専用
SENSERR	異常入力/センサーエラー	Boolean	読み取り専用
RAMERR	RAM データエラー	Boolean	読み取り専用

*これはハードウェア設定です。詳細については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

**この値はデバイスのフロントパネルで設定する必要があります。有効な範囲については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

● **注記:** TC は熱電対タイプのセンサーの温度範囲を示しています。Pt は白金抵抗温度計タイプのセンサーの温度範囲を示しています。示されている温度範囲はすべて、華氏 (F) と摂氏 (C) で同じ数値になります。

INITIALSTATUS の値のフォーマット



E5AX-A アドレスの説明

デフォルトのデータ型を太字で示しています。

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
AL-1	アラーム 1 の設定温度。 (-999-9999 度 TC)*(-99.9-999.9 度 Pt)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
AL-1-MD	アラーム 1 の動作モード。* (0-9)	Short、 Word	読み取り専用
AL-1-OUT	アラーム 1 の出カステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
AL-2	アラーム 2 の設定温度。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
AL-2-MD	アラーム 2 の動作モード。* (0-9)	Short、 Word	読み取り専用
AL-2-OUT	アラーム 2 の出カステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
AT	オートチューニングが進行中。 AT を開始するには TRUE を書き込みます。 AT を停止するには FALSE を書き込みます。 AT はデバイスがオートチューニングプロシージャを完了するまで (またはユーザーがこれを終了するまで) TRUE のままとなります。 オートチューニング中はドライバーは AT=FALSE 以外の書き込みコマンドを受け入れません。	Bool	読み取り書き込み
BACKUP	不揮発性メモリに RAM をバックアップします。 書き込み: 何かを書き込むとバックアッププロシージャが開始します。	Bool	読み取

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
	読み取り: TRUE = 不揮発性メモリが最新ではありません。 FALSE = 不揮発性メモリが最新です。 ● 注記: バックアップ中、デバイスは約 500 ミリ秒間応答しなくなります。		リ書き込み
BURNOUT	ヒーターの焼損が検出されました。 TRUE = ヒーターの焼損が検出されました FALSE = ヒーターは問題ありません	Bool	読み取り専用
CTR-MD	制御の動作モード。* TRUE = "オン/オフ" FALSE = "2 自由度の PID"	Bool	読み取り専用
D	微分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、Word	読み取り書き込み
DSPL-UNIT	表示単位。* TRUE = °F FALSE = °C	Bool	読み取り専用
I	積分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、Word	読み取り書き込み
IN-S	入力シフトの設定値。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt)	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
IN-S_DSPL	入力シフトの表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用

ニーモニック	説明	データ型	アクセス
			用
IN-T	入力 (センサー) のタイプ。* (0-9)	Short、 Word	読み取り専用
INITIALSTATUS	初期ステータスタグ INITIALSTATUS の値については、以下の図を参照してください。 ● 注記: INITIALSTATUS の値は、初回のデバイスセットアップ通信時および以下のアドレスを読み取る際に読み取られます。 AL-1-MD AL-2-MD CTR-MD DSPL-UNIT IN-S_DSPL IN-T O-TYPE O-OP PID-DSPL	Short、 Word	読み取り専用
O	出力の値。 (0.0-100.0%)	Float、 DWord、 Long	読み取り専用
O-TYPE	出力のタイプ。* TRUE = 電流 FALSE = パルス	Bool	読み取り専用
O-OP	出力の動作モード。* TRUE = 標準 (冷却) FALSE = 逆 (加熱)	Bool	読み取り専用
P	比例帯の設定値。 (0.0-999.9 度)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
PID-DSPL	PID の表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専

ニーモニック	説明	データ型	アクセス
			用
PV	<p>プロセス値 (測定温度)。</p> <p>(-999-9999 度 TC)</p> <p>(-99.9-999.9 度 Pt)</p> <p>● 注記: ハードウェアのステータス情報は PV 値とともにドライバーに渡されるため、このメモリ位置がモニターされていることが重要です。ハードウェアの故障が発生した場合 (デバイスの故障、ヒーターの焼損、センサーの故障)、それは PV の読み取り操作中にのみドライバーによって検出されて報告されます。</p>	Float、DWord、Long	読み取り専用
RAM-MD	<p>RAM モードが有効かどうか。</p> <p>TRUE = RAM モード FALSE = バックアップモード</p> <p>不揮発性メモリの消費を防止するため、ドライバーは自動的にデバイスを RAM モードに切り替えます。ユーザーは BACKUP コマンドを実行することで RAM のコンテンツをバックアップできます。</p> <p>● 注記: デバイスのフロントパネルで "リモートモード" が選択されていない場合、ドライバーはデバイスを自動的に RAM モードに切り替えることができません。RMT ボタンと RMT ステータスインジケータはフロントパネルにあります。</p>	Bool	読み取り専用
REMOTE	<p>リモートモードが有効かどうか。</p> <p>TRUE = デバイスはリモートモード FALSE = デバイスはローカルモード</p> <p>デバイスのフロントパネルでリモートモードが選択されていないかぎり、ドライバーはデバイスに書き込むことができません。</p>	Bool	読み取り専用
SL-H	設定ポイントの上限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SL-L	設定ポイントの下限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SP-S-IN	<p>設定ポイントのシフト入力の状態。</p> <p>TRUE = シフトが有効 FALSE = シフトが無効</p> <p>デバイス上の該当する端子を短絡すると状態は TRUE になります。</p>	Bool	読み取り専用
SV	<p>設定値の温度。</p> <p>設定範囲: SL-L-SL-H。</p>	Float、DWord、Long	読み取り書き

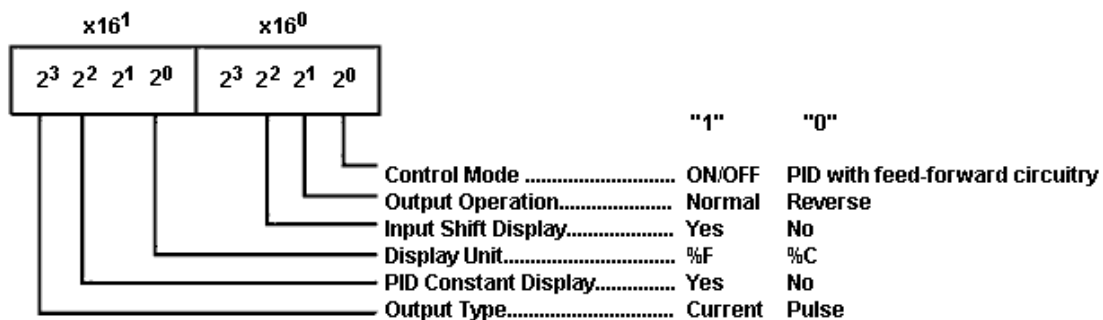
二一モニツク	説明	データ型	アクセス
			込み
ADCERR	A/D コンバータのエラー/故障	Boolean	読み取り専用
SENSERR	異常入力/センサーエラー	Boolean	読み取り専用
RAMERR	RAM データエラー	Boolean	読み取り専用

*これはハードウェア設定です。詳細については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

**この値はデバイスのフロントパネルで設定する必要があります。有効な範囲については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

● **注記:** TC は熱電対タイプのセンサーの温度範囲を示しています。Pt は白金抵抗温度計タイプのセンサーの温度範囲を示しています。示されている温度範囲はすべて、華氏 (F) と摂氏 (C) で同じ数値になります。

INITIALSTATUS の値のフォーマット



E5AX-AH アドレスの説明

デフォルトのデータ型を太字で示しています。

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
AL-1	アラーム 1 の設定温度。 (-999-9999 度 TC)*(-99.9-999.9 度 Pt)	Float 、 DWord、 Long	読み取り書

モニタリング	説明	データ型	アクセス
			き込み
AL-1-MD	アラーム 1 の動作モード。* (0-9)	Short、Word	読み取り専用
AL-1-OUT	アラーム 1 の出カステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
AT	オートチューニングが進行中。 ATを開始するには TRUE を書き込みます。 ATを停止するには FALSE を書き込みます。 ATはデバイスがオートチューニングプロシーダを完了するまで (またはユーザーがこれを終了するまで) TRUE のままとなります。 オートチューニング中はドライバーは AT=FALSE 以外の書き込みコマンドを受け入れません。	Bool	読み取り書き込み
BACKUP	不揮発性メモリに RAM をバックアップします。 書き込み: 何かを書き込むとバックアッププロシーダが開始します。 読み取り: TRUE = 不揮発性メモリが最新ではありません。 FALSE = 不揮発性メモリが最新です。 ● 注記: バックアップ中、デバイスは約 500 ミリ秒間応答しなくなります。	Bool	読み取り書き込み
BURNOUT	ヒーターの焼損が検出されました。 TRUE = ヒーターの焼損が検出されました FALSE = ヒーターは問題ありません	Bool	読み取り専用
CT	ヒーターの電流。 (0.0-50.0 A)	Float、DWord、Long	読み取り専用
CTR-MD	制御の動作モード。* TRUE = "オン/オフ" FALSE = "2 自由度の PID"	Bool	読み取り専用

二一モニック	説明	データ型	アクセス
D	微分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、 Word	読み取り書き込み
DSPL-UNIT	表示単位。* TRUE = °F FALSE = °C	Bool	読み取り専用
HB	ヒーター焼損の設定温度。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
I	積分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、 Word	読み取り書き込み
IN-S	入力シフトの設定値。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
IN-S_DSPL	入力シフトの表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
IN-T	入力 (センサー) のタイプ。* (0-9)	Short、 Word	読み取り専用
INITIALSTATUS	初期ステータスタグ INITIALSTATUS の値については、以下の図を参照してください。	Short、 Word	読み取り

モニター	説明	データ型	アクセス
	<p>● 注記: INITIALSTATUS の値は、初回のデバイスセットアップ通信時および以下のアドレスを読み取る際に読み取られます。</p> <p>AL-1-MD CTR-MD DSPL-UNIT IN-S_DSPL IN-T O-TYPE O-OP PID-DSPL</p>		専用
O	出力の値。 (0.0-100.0%)	Float、 DWord、 Long	読み取り専用
O-TYPE	出力のタイプ。* TRUE = 電流 FALSE = パルス	Bool	読み取り専用
O-OP	出力の動作モード。* TRUE = 標準 (冷却) FALSE = 逆 (加熱)	Bool	読み取り専用
P	比例帯の設定値。 (0.0-999.9 度)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
PID-DSPL	PID の表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
PV	プロセス値 (測定温度)。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt) ● 注記: ハードウェアのステータス情報は PV 値とともにドライバーに渡されるため、このメモリ位置がモニターされていることが重要です。ハードウェアの故障が発生した場合 (デバイスの故障、ヒーターの焼損、センサーの故障)、それは PV の読み取り操作中にのみドライバーによって検出されて報告されます。	Float、 DWord、 Long	読み取り専用

二一モニック	説明	データ型	アクセス
RAM-MD	<p>RAM モードが有効かどうか。</p> <p>TRUE = RAM モード FALSE = バックアップモード</p> <p>不揮発性メモリの消費を防止するため、ドライバーは自動的にデバイスを RAM モードに切り替えます。ユーザーは BACKUP コマンドを実行することで RAM のコンテンツをバックアップできます。</p> <p>● 注記: デバイスのフロントパネルで "リモートモード" が選択されていない場合、ドライバーはデバイスを自動的に RAM モードに切り替えることができません。RMT ボタンと RMT ステータスインジケータはフロントパネルにあります。</p>	Bool	読み取り専用
REMOTE	<p>リモートモードが有効かどうか。</p> <p>TRUE = デバイスはリモートモード FALSE = デバイスはローカルモード</p> <p>デバイスのフロントパネルでリモートモードが選択されていないかぎり、ドライバーはデバイスに書き込むことができません。</p>	Bool	読み取り専用
SL-H	設定ポイントの上限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SL-L	設定ポイントの下限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SP-S-IN	<p>設定ポイントのシフト入力の状態。</p> <p>TRUE = シフトが有効 FALSE = シフトが無効</p> <p>デバイス上の該当する端子を短絡すると状態は TRUE になります。</p>	Bool	読み取り専用
SV	<p>設定値の温度。</p> <p>設定範囲: SL-L-SL-H。</p>	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
ADCERR	A/D コンバータのエラー/故障	Boolean	読み取り専用
SENSERR	異常入力/センサーエラー	Boolean	読み取

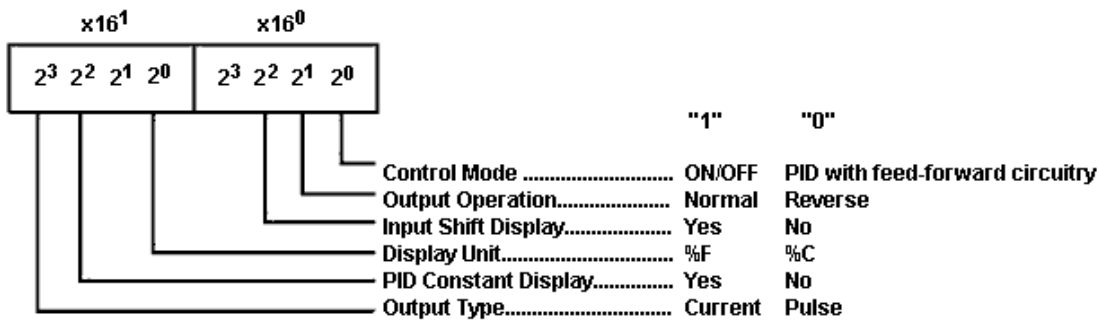
モニタリング	説明	データ型	アクセス
			専用
RAMERR	RAM データエラー	Boolean	読み取り専用

*これはハードウェア設定です。詳細については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

**この値はデバイスのフロントパネルで設定する必要があります。有効な範囲については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

● **注記:** TC は熱電対タイプのセンサーの温度範囲を示しています。Pt は白金抵抗温度計タイプのセンサーの温度範囲を示しています。示されている温度範囲はすべて、華氏 (F) と摂氏 (C) で同じ数値になります。

INITIALSTATUS の値のフォーマット



E5AX-DAA アドレスの説明

デフォルトのデータ型を太字で示しています。

モニタリング	説明	データ型	アクセス
AL-1	アラーム 1 の設定温度。 (-999-9999 度 TC)*(-99.9-999.9 度 Pt)	Float 、 DWord、 Long	読み取り書き込み
AL-1-MD	アラーム 1 の動作モード。* (0-9)	Short 、 Word	読み取り専用
AL-1-OUT	アラーム 1 の出カステータス。	Bool	読み

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
	TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ		取り専用
AL-2	アラーム 2 の設定温度。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
AL-2-MD	アラーム 2 の動作モード。* (0-9)	Short、 Word	読み取り専用
AL-2-OUT	アラーム 2 の出カステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
AT	オートチューニングが進行中。 AT を開始するには TRUE を書き込みます。 AT を停止するには FALSE を書き込みます。 AT はデバイスがオートチューニングプロセスを完了するまで (またはユーザーがこれを終了するまで) TRUE のままとなります。 オートチューニング中はドライバーは AT=FALSE 以外の書き込みコマンドを受け入れません。	Bool	読み取り書き込み
BACKUP	不揮発性メモリに RAM をバックアップします。 書き込み: 何かを書き込むとバックアッププロセスが開始します。 読み取り: TRUE = 不揮発性メモリが最新ではありません FALSE = 不揮発性メモリが最新です ● 注記: バックアップ中、デバイスは約 500 ミリ秒間応答しなくなります。	Bool	読み取り書き込み
BURNOUT	ヒーターの焼損が検出されました。 TRUE = ヒーターの焼損が検出されました FALSE = ヒーターは問題ありません	Bool	読み取り専用
CTR-MD	制御の動作モード。* TRUE = "オン/オフ"	Bool	読み取り

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
	FALSE = "2 自由度のPID"		り専用
D	微分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、 Word	読み取り書き込み
DSPL-UNIT	表示単位。* TRUE = °F FALSE = °C	Bool	読み取り専用
I	積分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、 Word	読み取り書き込み
IN-S	入カシフトの設定値。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
IN-S_DSPL	入カシフトの表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
IN-T	入力 (センサー) のタイプ。* (0-9)	Short、 Word	読み取り専用
INITIALSTATUS	初期ステータスタグ INITIALSTATUS の値については、以下の図を参照してください。 ● 注記: INITIALSTATUS の値は、初回のデバイスセットアップ通信時および以下のアドレスを読み取る際に読み取られます。 AL-1-MD	Short、 Word	読み取り専用

ニーモニック	説明	データ型	アクセス
	AL-2-MD CTR-MD DSPL-UNIT IN-S_DSPL IN-T O-TYPE O-OP PID-DSPL		
O	出力の値。 (0.0-100.0%)	Float、 DWord、 Long	読み取り専用
O-TYPE	出力のタイプ。* TRUE = 電流 FALSE = パルス	Bool	読み取り専用
O-OP	出力の動作モード。* TRUE = 標準 (冷却) FALSE = 逆 (加熱)	Bool	読み取り専用
P	比例帯の設定値。 (0.0-999.9 度)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
PID-DSPL	PID の表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
PV	プロセス値 (測定温度)。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt) ● 注記: ハードウェアのステータス情報は PV 値とともにドライバーに渡されるため、このメモリ位置がモニターされていることが重要です。ハードウェアの故障が発生した場合 (デバイスの故障、ヒーターの焼損、センサーの故障)、それは PV の読み取り操作中にのみドライバーによって検出されて報告されます。	Float、 DWord、 Long	読み取り専用
RAM-MD	RAM モードが有効かどうか。 TRUE = RAM モード	Bool	読み取り

ニモニック	説明	データ型	アクセス
	<p>FALSE = バックアップモード</p> <p>不揮発性メモリの消費を防止するため、ドライバーは自動的にデバイスを RAM モードに切り替えます。ユーザーは BACKUP コマンドを実行することで RAM のコンテンツをバックアップできます。</p> <p>● 注記: デバイスのフロントパネルで "リモートモード" が選択されていない場合、ドライバーはデバイスを自動的に RAM モードに切り替えることができません。RMT ボタンと RMT ステータスインジケータはフロントパネルにあります。</p>		専用
REMOTE	<p>リモートモードが有効かどうか。</p> <p>TRUE = デバイスはリモートモード FALSE = デバイスはローカルモード</p> <p>デバイスのフロントパネルでリモートモードが選択されていないかぎり、ドライバーはデバイスに書き込むことができません。</p>	Bool	読み取り専用
SL-H	設定ポイントの上限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SL-L	設定ポイントの下限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SP-S-IN	<p>設定ポイントのシフト入力の状態。</p> <p>TRUE = シフトが有効 FALSE = シフトが無効</p> <p>デバイス上の該当する端子を短絡すると状態は TRUE になります。</p>	Bool	読み取り専用
SV	<p>設定値の温度。</p> <p>設定範囲: SL-L-SL-H。</p>	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
ADCERR	A/D コンバータのエラー/故障	Boolean	読み取り専用
SENSERR	異常入力/センサーエラー	Boolean	読み取り専用

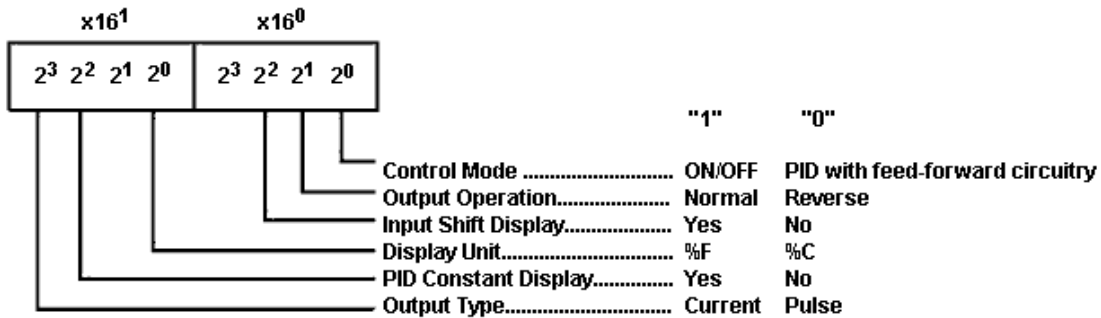
二一モニツク	説明	データ型	アクセス
RAMERR	RAM データエラー	Boolean	読み取り専用

*これはハードウェア設定です。詳細については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

**この値はデバイスのフロントパネルで設定する必要があります。有効な範囲については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

●注記: TC は熱電対タイプのセンサーの温度範囲を示しています。Pt は白金抵抗温度計タイプのセンサーの温度範囲を示しています。示されている温度範囲はすべて、華氏 (F) と摂氏 (C) で同じ数値になります。

INITIALSTATUS の値のフォーマット



E5AX-PRR アドレスの説明

デフォルトのデータ型を太字で示しています。

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
AL-1	アラーム 1 の設定温度。 (-999-9999 度 TC)*(-99.9-999.9 度 Pt)	Float 、 DWord、 Long	読み取り書き込み
AL-1-MD	アラーム 1 の動作モード。* (0-9)	Short 、 Word	読み取り専用
AL-1-OUT	アラーム 1 の出カステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用

二一モニック	説明	データ型	アクセス
			用
AL-2	アラーム 2 の設定温度。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt)	Float、 DWord、 Long	読み取り 書き込み
AL-2-MD	アラーム 2 の動作モード。* (0-9)	Short、 Word	読み取り 専用
AL-2-OUT	アラーム 2 の出カステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り 専用
AT	オートチューニングが進行中。 ATを開始するにはTRUEを書き込みます。 ATを停止するにはFALSEを書き込みます。 ATはデバイスがオートチューニングプロシーダを完了するまで(またはユーザーがこれを終了するまで)TRUEのままとなります。 オートチューニング中はドライバーはAT=FALSE以外の書き込みコマンドを受け入れません。	Bool	読み取り 書き込み
BACKUP	不揮発性メモリにRAMをバックアップします。 書き込み:何かを書き込むとバックアッププロシーダが開始します。 読み取り: TRUE = 不揮発性メモリが最新ではありません。 FALSE = 不揮発性メモリが最新です。 ● 注記: バックアップ中、デバイスは約 500 ミリ秒間応答しなくなります。	Bool	読み取り 書き込み
BURNOUT	ヒーターの焼損が検出されました。 TRUE = ヒーターの焼損が検出されました FALSE = ヒーターは問題ありません	Bool	読み取り 専用
CTR-MD	制御の動作モード。* TRUE = "オン/オフ" FALSE = "2 自由度の PID"	Bool	読み取り 専用

二一モニック	説明	データ型	アクセス
D	微分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、 Word	読み取り書き込み
DSPL-UNIT	表示単位。* TRUE = °F FALSE = °C	Bool	読み取り専用
I	積分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、 Word	読み取り書き込み
IN-S	入力シフトの設定値。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
IN-S_DSPL	入力シフトの表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
IN-T	入力 (センサー) のタイプ。* (0-9)	Short、 Word	読み取り専用
INITIALSTATUS	初期ステータスタグ INITIALSTATUS の値については、以下の図を参照してください。 ● 注記: INITIALSTATUS の値は、初回のデバイスセットアップ通信時および以下のアドレスを読み取る際に読み取られます。 AL-1-MD AL-2-MD CTR-MD DSPL-UNIT IN-S_DSPL	Short、 Word	読み取り専用

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
	IN-T O-TYPE O-OP PID-DSPL		
O	出力の値。 (0.0-100.0%)	Float、 DWord、 Long	読み取り専用
O-MD-S	出力モードの切り替え。 TRUE = 手動 FALSE = 自動	Bool	読み取り書き込み
O-TYPE	出力のタイプ。* TRUE = 電流 FALSE = パルス	Bool	読み取り専用
O-OP	出力の動作モード。* TRUE = 標準 (冷却) FALSE = 逆 (加熱)	Bool	読み取り専用
P	比例帯の設定値。 (0.0-999.9 度)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
PID-DSPL	PID の表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
PV	プロセス値 (測定温度)。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt) ● 注記: ハードウェアのステータス情報は PV 値とともにドライバーに渡されるため、このメモリ位置がモニターされていることが重要です。ハードウェアの故障が発生した場合 (デバイスの故障、ヒーターの焼損、センサーの故障)、それは PV の読み取り操作中にのみドライバーによって検出されて報告されます。	Float、 DWord、 Long	読み取り専用

二一モニック	説明	データ型	アクセス
RAM-MD	<p>RAM モードが有効かどうか。</p> <p>TRUE = RAM モード FALSE = バックアップモード</p> <p>不揮発性メモリの消費を防止するため、ドライバーは自動的にデバイスを RAM モードに切り替えます。ユーザーは BACKUP コマンドを実行することで RAM のコンテンツをバックアップできます。</p> <p>● 注記: デバイスのフロントパネルで "リモートモード" が選択されていない場合、ドライバーはデバイスを自動的に RAM モードに切り替えることができません。RMT ボタンと RMT ステータスインジケータはフロントパネルにあります。</p>	Bool	読み取り専用
REMOTE	<p>リモートモードが有効かどうか。</p> <p>TRUE = デバイスはリモートモード FALSE = デバイスはローカルモード</p> <p>デバイスのフロントパネルでリモートモードが選択されていないかぎり、ドライバーはデバイスに書き込むことができません。</p>	Bool	読み取り専用
SL-H	設定ポイントの上限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SL-L	設定ポイントの下限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SP-S-IN	<p>設定ポイントのシフト入力の状態。</p> <p>TRUE = シフトが有効 FALSE = シフトが無効</p> <p>デバイス上の該当する端子を短絡すると状態は TRUE になります。</p>	Bool	読み取り専用
SV	<p>設定値の温度。</p> <p>設定範囲: SL-L-SL-H。</p>	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
ADCERR	A/D コンバータのエラー/故障	Boolean	読み取り専用
SENSERR	異常入力/センサーエラー	Boolean	読み取り

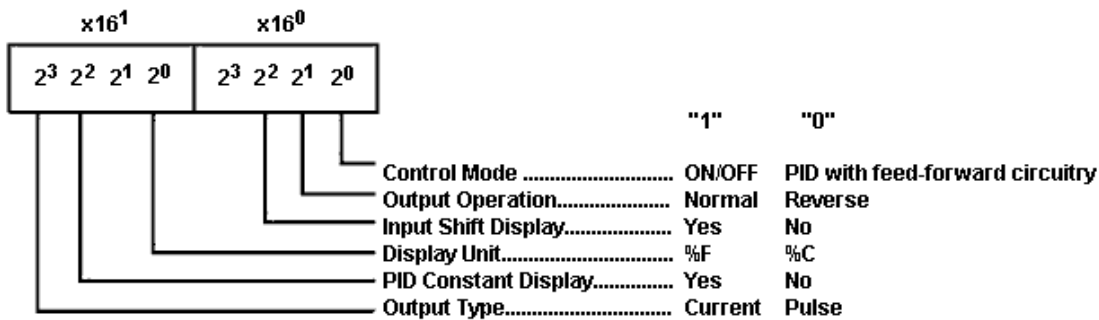
モニタリング	説明	データ型	アクセス
			専用
RAMERR	RAM データエラー	Boolean	読み取り専用

*これはハードウェア設定です。詳細については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

**この値はデバイスのフロントパネルで設定する必要があります。有効な範囲については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

● **注記:** TC は熱電対タイプのセンサーの温度範囲を示しています。Pt は白金抵抗温度計タイプのセンサーの温度範囲を示しています。示されている温度範囲はすべて、華氏 (F) と摂氏 (C) で同じ数値になります。

INITIALSTATUS の値のフォーマット



E5AX-VAA アドレスの説明

デフォルトのデータ型を太字で示しています。

モニタリング	説明	データ型	アクセス
AL-1	アラーム 1 の設定温度。 (-999-9999 度 TC)*(-99.9-999.9 度 Pt)	Float 、 DWord、 Long	読み取り書き込み
AL-1-MD	アラーム 1 の動作モード。* (0-9)	Short 、 Word	読み取り専用
AL-1-OUT	アラーム 1 の出カステータス。	Bool	読み

二一モニック	説明	データ型	アクセス
	TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ		取り専用
AT	オートチューニングが進行中。 ATを開始するには TRUE を書き込みます。 ATを停止するには FALSE を書き込みます。 ATはデバイスがオートチューニングプロシージャを完了するまで (またはユーザーがこれを終了するまで) TRUE のままとなります。 オートチューニング中はドライバーは AT=FALSE 以外の書き込みコマンドを受け入れません。	Bool	読み取り書き込み
BACKUP	不揮発性メモリに RAM をバックアップします。 書き込み: 何かを書き込むとバックアッププロシージャが開始します。 読み取り: TRUE = 不揮発性メモリが最新ではありません。 FALSE = 不揮発性メモリが最新です。 ● 注記: バックアップ中、デバイスは約 500 ミリ秒間応答しなくなります。	Bool	読み取り書き込み
BURNOUT	ヒーターの焼損が検出されました。 TRUE = ヒーターの焼損が検出されました FALSE = ヒーターは問題ありません	Bool	読み取り専用
C-DB	不感帯の設定値。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt)	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
CTR-MD	制御の動作モード。* TRUE = "オン/オフ" FALSE = "2 自由度の PID"	Bool	読み取り専用
C-SC	冷却係数。 (0.1-99.9)	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
D	微分時間の設定値。	Short、Word	読

二一モニック	説明	データ型	アクセス
	(0-3999 秒)		み取り書き込み
DSPL-UNIT	表示単位。* TRUE = °F FALSE = °C	Bool	読み取り専用
I	積分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、Word	読み取り書き込み
IN-S	入カシフトの設定値。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt)	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
IN-S_DSPL	入カシフトの表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
IN-T	入力 (センサー) のタイプ。* (0-9)	Short、Word	読み取り専用
INITIALSTATUS	初期ステータスタグ INITIALSTATUS の値については、以下の図を参照してください。 ● 注記: INITIALSTATUS の値は、初回のデバイスセットアップ通信時および以下のアドレスを読み取る際に読み取られます。 AL-1-MD CTR-MD DSPL-UNIT IN-S_DSPL IN-T O-TYPE	Short、Word	読み取り専用

ニーモニック	説明	データ型	アクセス
	O-OP PID-DSPL		
O	出力の値。 (0.0-100.0%)	Float、 DWord、 Long	読み取り専用
O-TYPE	出力のタイプ。* TRUE = 電流 FALSE = パルス	Bool	読み取り専用
O-OP	出力の動作モード。* TRUE = 標準 (冷却) FALSE = 逆 (加熱)	Bool	読み取り専用
P	比例帯の設定値。 (0.0-999.9 度)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
PID-DSPL	PID の表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
PV	プロセス値 (測定温度)。 (-999-9999 度 TC) (-99.9-999.9 度 Pt) ● 注記: ハードウェアのステータス情報は PV 値とともにドライバーに渡されるため、このメモリ位置がモニターされていることが重要です。ハードウェアの故障が発生した場合 (デバイスの故障、ヒーターの焼損、センサーの故障)、それは PV の読み取り操作中にのみドライバーによって検出されて報告されます。	Float、 DWord、 Long	読み取り専用
RAM-MD	RAM モードが有効かどうか。 TRUE = RAM モード FALSE = バックアップモード 不揮発性メモリの消費を防止するため、ドライバーは自動的にデバイスを RAM モードに切り替えます。ユーザーは BACKUP コマンドを実行することで RAM のコンテンツをバックアップできます。 ● 注記: デバイスのフロントパネルで "リモートモード" が選択されていない場合、	Bool	読み取り専用

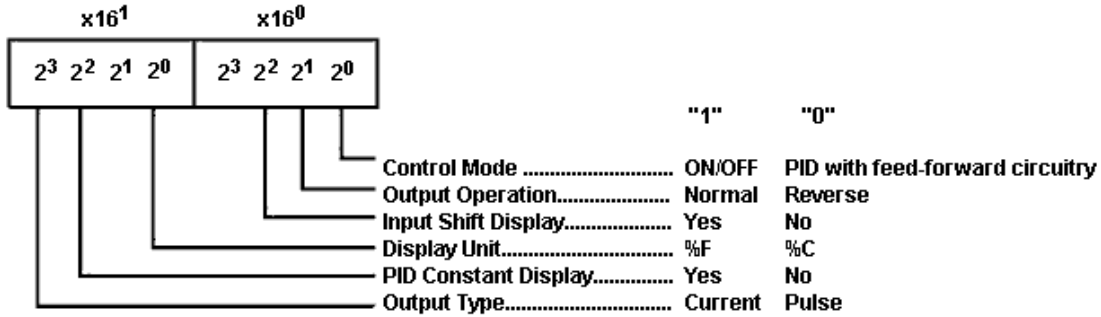
ニーモニック	説明	データ型	アクセス
	ドライバーはデバイスを自動的にRAM モードに切り替えることができません。 RMT ボタンとRMT ステータスインジケータはフロントパネルにあります。		
REMOTE	リモートモードが有効かどうか。 TRUE = デバイスはリモートモード FALSE = デバイスはローカルモード デバイスのフロントパネルでリモートモードが選択されていないかぎり、ドライバーはデバイスに書き込むことができません。	Bool	読み取り専用
SL-H	設定ポイントの上限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SL-L	設定ポイントの下限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SP-S-IN	設定ポイントのシフト入力の状態。 TRUE = シフトが有効 FALSE = シフトが無効 デバイス上の該当する端子を短絡すると状態は TRUE になります。	Bool	読み取り専用
SV	設定値の温度。 設定範囲: SL-L-SL-H。	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
ADCERR	A/D コンバータのエラー/故障	Boolean	読み取り専用
SENSERR	異常入力/センサーエラー	Boolean	読み取り専用
RAMERR	RAM データエラー	Boolean	読み取り専用

*これはハードウェア設定です。詳細については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

**この値はデバイスのフロントパネルで設定する必要があります。有効な範囲については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

● **注記:** TC は熱電対タイプのセンサーの温度範囲を示しています。Pt は白金抵抗温度計タイプのセンサーの温度範囲を示しています。示されている温度範囲はすべて、華氏 (F) と摂氏 (C) で同じ数値になります。

INITIALSTATUS の値のフォーマット



E5CN-PT アドレスの説明

デフォルトのデータ型を太字で示しています。

ニーモニック	説明	データ型	アクセス
AL-1	アラーム 1 の設定温度。 (-199.9-999.9 度 Pt)	Float 、 DWord、 Long	読み取り書き込み
AL-1-MD	アラーム 1 の動作モード。* (0-9)	Short 、 Word	読み取り専用
AL-1-OUT	アラーム 1 の出力ステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
AL-2	アラーム 2 の設定温度。 (-199.9-999.9 度 Pt)	Float 、 DWord、 Long	読み取り書き込み
AL-2-MD	アラーム 2 の動作モード。*	Short 、 Word	読み

ニ一モニツク	説明	データ型	アクセス
	(0-9)		取り専用
AL-2-OUT	アラーム 2 の出カステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
BACKUP	不揮発性メモリに RAM をバックアップします。 書き込み: 何かを書き込むとバックアッププロシージャが開始します。 読み取り: TRUE = 不揮発性メモリが最新ではありません。 FALSE = 不揮発性メモリが最新です。 ● 注記: バックアップ中、デバイスは約 500 ミリ秒間応答しなくなります。	Bool	読み取り書き込み
BURNOUT	ヒーターの焼損が検出されました。 TRUE = ヒーターの焼損が検出されました FALSE = ヒーターは問題ありません	Bool	読み取り専用
CT	ヒーターの電流。 (0.2-50.0 A)	Float、 DWord、 Long	読み取り専用
CTR-MD	制御の動作モード。* TRUE = "オン/オフ" FALSE = "2 自由度の PID"	Bool	読み取り専用
D	微分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、 Word	読み取り書き込み
DSPL-UNIT	表示単位。* TRUE = °F FALSE = °C	Bool	読み取り専用
HB	ヒーター焼損の設定温度。	Float、	読

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
	(-1999-9999 度 TC) (-199.9-999.9 度 Pt)	DWord、Long	み取り書き込み
I	積分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、Word	読み取り書き込み
IN-S	入力シフトの設定値。 (-1999-9999 度 TC) (-199.9-999.9 度 Pt)	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
IN-S_DSPL	入力シフトの表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
IN-T	入力 (センサー) のタイプ。* (0-4)	Short、Word	読み取り専用
INITIALSTATUS	初期ステータスタグ INITIALSTATUS の値については、以下の図を参照してください。 ● 注記: INITIALSTATUS の値は、初回のデバイスセットアップ通信時および以下のアドレスを読み取る際に読み取られます。 AL-1-MD AL-2-MD CTR-MD DSPL-UNIT IN-S_DSPL IN-T O-TYPE O-OP PID-DSPL	Short、Word	読み取り専用
O	出力の値。 (0.0-100.0%)	Float、DWord、Long	読み取り

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
			り専用
O-TYPE	出力のタイプ。* TRUE = 電流 FALSE = パルス	Bool	読み取り専用
O-OP	出力の動作モード。* TRUE = 標準 (冷却) FALSE = 逆 (加熱)	Bool	読み取り専用
P	比例帯の設定値。 (0.0-999.9 度)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
PID-DSPL	PID の表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
PV	プロセス値 (測定温度)。 (-199.9-999.9 度 Pt) ● 注記: ハードウェアのステータス情報は PV 値とともにドライバーに渡されるため、このメモリ位置がモニターされていることが重要です。ハードウェアの故障が発生した場合 (デバイスの故障、ヒーターの焼損、センサーの故障)、それは PV の読み取り操作中にのみドライバーによって検出されて報告されます。	Float、 DWord、 Long	読み取り専用
RAM-MD	RAM モードが有効かどうか。 TRUE = RAM モード FALSE = バックアップモード 不揮発性メモリの消費を防止するため、ドライバーは自動的にデバイスを RAM モードに切り替えます。ユーザーは BACKUP コマンドを実行することで RAM のコンテンツをバックアップできます。 ● 注記: デバイスのフロントパネルで "リモートモード" が選択されていない場合、ドライバーはデバイスを自動的に RAM モードに切り替えることができません。RMT ボタンと RMT ステータスインジケータはフロントパネルにあります。	Bool	読み取り専用
REMOTE	リモートモードが有効かどうか。 TRUE = デバイスはリモートモード FALSE = デバイスはローカルモード	Bool	読み取り専用

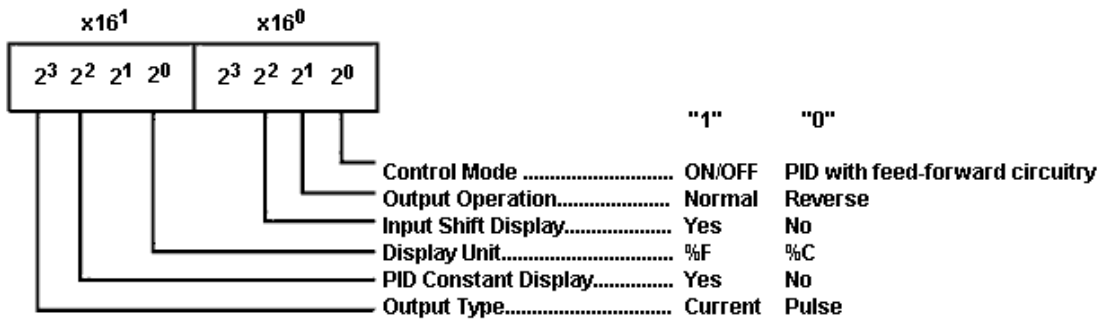
二一モニック	説明	データ型	アクセス
	デバイスのフロントパネルでリモートモードが選択されていないかぎり、ドライバーはデバイスに書き込むことができません。		用
SL-H	設定ポイントの上限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SL-L	設定ポイントの下限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SP-S-IN	設定ポイントのシフト入力の状態。 TRUE = シフトが有効 FALSE = シフトが無効 デバイス上の該当する端子を短絡すると状態は TRUE になります。	Bool	読み取り専用
SV	設定値の温度。 設定範囲: SL-L-SL-H。	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
ADCERR	A/D コンバータのエラー/故障	Boolean	読み取り専用
SENSERR	異常入力/センサーエラー	Boolean	読み取り専用
RAMERR	RAM データエラー	Boolean	読み取り専用

*これはハードウェア設定です。詳細については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

**この値はデバイスのフロントパネルで設定する必要があります。有効な範囲については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

● **注記:** TC は熱電対タイプのセンサーの温度範囲を示しています。Pt は白金抵抗温度計タイプのセンサーの温度範囲を示しています。示されている温度範囲はすべて、華氏 (F) と摂氏 (C) で同じ数値になります。

INITIALSTATUS の値のフォーマット



E5CN-TC アドレスの説明

デフォルトのデータ型を太字で示しています。

ニーモニック	説明	データ型	アクセス
AL-1	アラーム 1 の設定温度。 (-1999-9999 度 TC)	Float 、 DWord、 Long	読み取り 書き込み
AL-1-MD	アラーム 1 の動作モード。* (0-9)	Short 、 Word	読み取り専用
AL-1-OUT	アラーム 1 の出カステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
AL-2	アラーム 2 の設定温度。 (-1999-9999 度 TC)	Float 、 DWord、 Long	読み取り 書き込み
AL-2-MD	アラーム 2 の動作モード。* (0-9)	Short 、 Word	読み取り専用
AL-2-OUT	アラーム 2 の出カステータス。 TRUE = アラームがオン	Bool	読み取

二一モニック	説明	データ型	アクセス
	FALSE = アラームがオフ		リ専用
BACKUP	<p>不揮発性メモリにRAMをバックアップします。</p> <p>書き込み: 何かを書き込むとバックアッププロシージャが開始します。</p> <p>読み取り:</p> <p>TRUE = 不揮発性メモリが最新ではありません。 FALSE = 不揮発性メモリが最新です。</p> <p>● 注記: バックアップ中、デバイスは約 500 ミリ秒間応答しなくなります。</p>	Bool	読み取り書き込み
BURNOUT	<p>ヒーターの焼損が検出されました。</p> <p>TRUE = ヒーターの焼損が検出されました FALSE = ヒーターは問題ありません</p>	Bool	読み取り専用
CT	<p>ヒーターの電流。</p> <p>(0.2-50.0 A)</p>	Float、DWord、Long	読み取り専用
CTR-MD	<p>制御の動作モード。*</p> <p>TRUE = "オン/オフ" FALSE = "2 自由度の PID"</p>	Bool	読み取り専用
D	<p>微分時間の設定値。</p> <p>(0-3999 秒)</p>	Short、Word	読み取り書き込み
DSPL-UNIT	<p>表示単位。*</p> <p>TRUE = °F FALSE = °C</p>	Bool	読み取り専用
HB	<p>ヒーター焼損の設定温度。</p> <p>(-1999-9999 度 TC)</p>	Float、DWord、Long	読み取り書き込み

モニタリング	説明	データ型	アクセス
I	積分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、 Word	読み取り書き込み
IN-S	入カシフトの設定値。 (-1999-9999 度 TC)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
IN-S_DSPL	入カシフトの表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
IN-T	入力 (センサー) のタイプ。 (0-16)*	Short、 Word	読み取り専用
INITIALSTATUS	初期ステータスタグ INITIALSTATUS の値については、以下の図を参照してください。 ● 注記: INITIALSTATUS の値は、初回のデバイスセットアップ通信時および以下のアドレスを読み取る際に読み取られます。 AL-1-MD AL-2-MD CTR-MD DSPL-UNIT IN-S_DSPL IN-T O-TYPE O-OP PID-DSPL	Short、 Word	読み取り専用
O	出力の値。 (0.0-100.0%)	Float、 DWord、 Long	読み取り専用
O-TYPE	出力のタイプ。* TRUE = 電流 FALSE = パルス	Bool	読み取り

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
			専用
O-OP	出力の動作モード。* TRUE = 標準 (冷却) FALSE = 逆 (加熱)	Bool	読み取り専用
P	比例帯の設定値。 (0.0-999.9 度)	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
PID-DSPL	PID の表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
PV	プロセス値 (測定温度)。 (-1999-9999 度 TC) ● 注記: ハードウェアのステータス情報は PV 値とともにドライバーに渡されるため、このメモリ位置がモニターされていることが重要です。ハードウェアの故障が発生した場合 (デバイスの故障、ヒーターの焼損、センサーの故障)、それは PV の読み取り操作中にのみドライバーによって検出されて報告されます。	Float、DWord、Long	読み取り専用
RAM-MD	RAM モードが有効かどうか。 TRUE = RAM モード FALSE = バックアップモード 不揮発性メモリの消費を防止するため、ドライバーは自動的にデバイスを RAM モードに切り替えます。ユーザーは BACKUP コマンドを実行することで RAM のコンテンツをバックアップできます。 ● 注記: デバイスのフロントパネルで "リモートモード" が選択されていない場合、ドライバーはデバイスを自動的に RAM モードに切り替えることができません。RMT ボタンと RMT ステータスインジケータはフロントパネルにあります。	Bool	読み取り専用
REMOTE	リモートモードが有効かどうか。 TRUE = デバイスはリモートモード FALSE = デバイスはローカルモード デバイスのフロントパネルでリモートモードが選択されていないかぎり、ドライバーはデバイスに書き込むことができません。	Bool	読み取り専用
SL-H	設定ポイントの上限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用

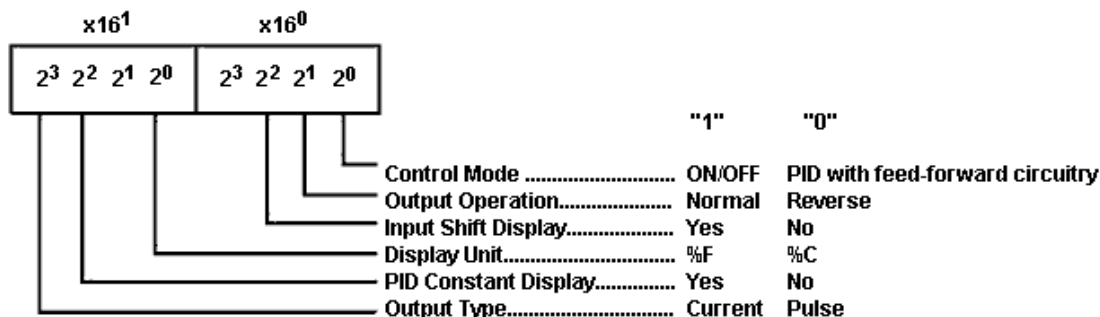
モニタリング	説明	データ型	アクセス
			用
SL-L	設定ポイントの下限。**	Float、DWord、Long	読み取り専用
SP-S-IN	設定ポイントのシフト入力の状態。 TRUE = シフトが有効 FALSE = シフトが無効 デバイス上の該当する端子を短絡すると状態は TRUE になります。	Bool	読み取り専用
SV	設定値の温度。 設定範囲: SL-L-SL-H。	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
ADCERR	A/D コンバータのエラー/故障	Boolean	読み取り専用
SENSERR	異常入力/センサーエラー	Boolean	読み取り専用
RAMERR	RAM データエラー	Boolean	読み取り専用

*これはハードウェア設定です。詳細については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

**この値はデバイスのフロントパネルで設定する必要があります。有効な範囲については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

● **注記:** TC は熱電対タイプのセンサーの温度範囲を示しています。Pt は白金抵抗温度計タイプのセンサーの温度範囲を示しています。示されている温度範囲はすべて、華氏 (F) と摂氏 (C) で同じ数値になります。

INITIALSTATUS の値のフォーマット



E5EJ-A アドレスの説明

デフォルトのデータ型を太字で示しています。

ニーモニック	説明	データ型	アクセス
AL-1	アラーム 1 の設定温度。 (-1999-9999 度 TC)*(-199.9-999.9 度 Pt)	Float 、 DWord、 Long	読み取り書き込み
AL-1-MD	アラーム 1 の動作モード。* (0-9)	Short 、 Word	読み取り専用
AL-1-OUT	アラーム 1 の出力ステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
AL-2	アラーム 2 の設定温度。 (-1999-9999 度 TC) (-199.9-999.9 度 Pt)	Float 、 DWord、 Long	読み取り書き込み
AL-2-MD	アラーム 2 の動作モード。* (0-9)	Short 、 Word	読み取り専用
AL-2-OUT	アラーム 2 の出力ステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
			用
BACKUP	<p>不揮発性メモリにRAMをバックアップします。</p> <p>書き込み: 何かを書き込むとバックアッププロシージャが開始します</p> <p>読み取り:</p> <p>TRUE = 不揮発性メモリが最新ではありません。</p> <p>FALSE = 不揮発性メモリが最新です。</p> <p>● 注記: バックアップ中、デバイスは約 500 ミリ秒間応答しなくなります。</p>	Bool	読み取り書き込み
BURNOUT	<p>ヒーターの焼損が検出されました。</p> <p>TRUE = ヒーターの焼損が検出されました</p> <p>FALSE = ヒーターは問題ありません</p>	Bool	読み取り専用
CT	<p>ヒーターの電流。</p> <p>(0.2-50.0 A)</p>	Float、DWord、Long	読み取り専用
CTR-MD	<p>制御の動作モード。*</p> <p>TRUE = "オン/オフ"</p> <p>FALSE = "2 自由度の PID"</p>	Bool	読み取り専用
D	<p>微分時間の設定値。</p> <p>(0-3999 秒)</p>	Short、Word	読み取り書き込み
DSPL-UNIT	<p>表示単位。*</p> <p>TRUE = °F</p> <p>FALSE = °C</p>	Bool	読み取り専用
HB	<p>ヒーター焼損の設定温度。</p> <p>(-1999-9999 度 TC)</p> <p>(-199.9-999.9 度 Pt)</p>	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
I	<p>積分時間の設定値。</p>	Short、Word	読み

二一モニック	説明	データ型	アクセス
	(0-3999 秒)		取り書き込み
IN-S_DSPL	入力シフトの表示が有効かどうか。 TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
IN-T	入力 (センサー) のタイプ。 (0-9)	Short、Word	読み取り専用
INITIALSTATUS	初期ステータスタグ INITIALSTATUS の値については、以下の図を参照してください。 ● 注記: INITIALSTATUS の値は、初回のデバイスセットアップ通信時および以下のアドレスを読み取る際に読み取られます。 AL-1-MD AL-2-MD CTR-MD DSPL-UNIT IN-S_DSPL IN-T O-TYPE O-OP PID-DSPL	Short、Word	読み取り専用
O	出力の値。 (0.0-100.0%)	Float、DWord、Long	読み取り専用
O-TYPE	出力のタイプ。 TRUE = 電流 FALSE = パルス	Bool	読み取り専用
O-OP	出力の動作モード。 TRUE = 標準 (冷却) FALSE = 逆 (加熱)	Bool	読み取り専用
P	比例帯の設定値。	Float、DWord、	読

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
	(0.0-999.9 度)	Long	み取り書き込み
PID-DSPL	PID の表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
PV	プロセス値 (測定温度)。 (-1999-9999 度 TC) (-199.9-999.9 度 Pt) ● 注記: ハードウェアのステータス情報は PV 値とともにドライバーに渡されるため、このメモリ位置がモニターされていることが重要です。ハードウェアの故障が発生した場合 (デバイスの故障、ヒーターの焼損、センサーの故障)、それは PV の読み取り操作中にのみドライバーによって検出されて報告されます。	Float、DWord、Long	読み取り専用
RAM-MD	RAM モードが有効かどうか。 TRUE = RAM モード FALSE = バックアップモード 不揮発性メモリの消費を防止するため、ドライバーは自動的にデバイスを RAM モードに切り替えます。ユーザーは BACKUP コマンドを実行することで RAM のコンテンツをバックアップできます。 ● 注記: デバイスのフロントパネルで "リモートモード" が選択されていない場合、ドライバーはデバイスを自動的に RAM モードに切り替えることができません。RMT ボタンと RMT ステータスインジケータはフロントパネルにあります。	Bool	読み取り専用
REMOTE	リモートモードが有効かどうか。 TRUE = デバイスはリモートモード FALSE = デバイスはローカルモード デバイスのフロントパネルでリモートモードが選択されていないかぎり、ドライバーはデバイスに書き込むことができません。	Bool	読み取り専用
SP-S-IN	設定ポイントのシフト入力の状態。 TRUE = シフトが有効 FALSE = シフトが無効 デバイス上の該当する端子を短絡すると状態は TRUE になります。	Bool	読み取り専用
SV	設定値の温度。 設定範囲: SL-L-SL-H。	Float、DWord、Long	読み取り書き

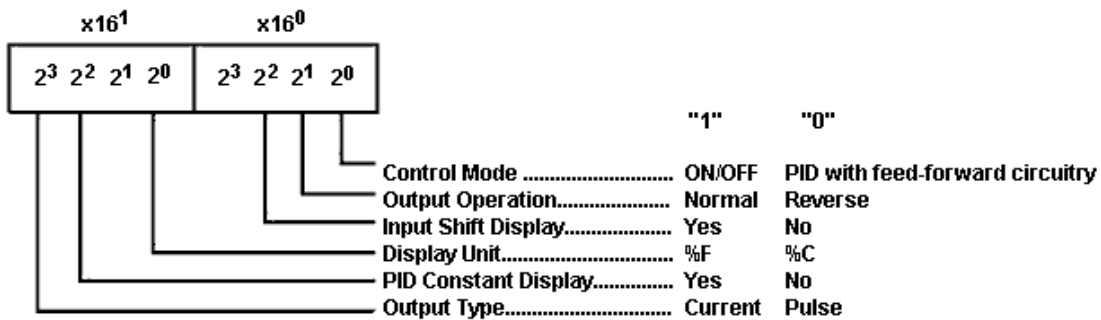
二一モニツク	説明	データ型	アクセス
			込み
ADCERR	A/D コンバータのエラー/故障	Boolean	読み取り専用
SENSERR	異常入力/センサーエラー	Boolean	読み取り専用
RAMERR	RAM データエラー	Boolean	読み取り専用

*これはハードウェア設定です。詳細については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

**この値はデバイスのフロントパネルで設定する必要があります。有効な範囲については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

● **注記:** TC は熱電対タイプのセンサーの温度範囲を示しています。Pt は白金抵抗温度計タイプのセンサーの温度範囲を示しています。示されている温度範囲はすべて、華氏 (F) と摂氏 (C) で同じ数値になります。

INITIALSTATUS の値のフォーマット



E5GN-PT アドレスの説明

デフォルトのデータ型を太字で示しています。

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
AL-1	アラーム 1 の設定温度。 (-199.9-999.9 度 Pt)	Float 、 DWord 、 Long	読み取り書

モニタリング	説明	データ型	アクセス
			書き込み
AL-1-MD	アラーム 1 の動作モード。* (0-9)	Short、Word	読み取り専用
AL-1-OUT	アラーム 1 の出カステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
AL-2	アラーム 2 の設定温度。 (-199.9-999.9 度 Pt)	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
AL-2-MD	アラーム 2 の動作モード。* (0-9)	Short、Word	読み取り専用
AL-2-OUT	アラーム 2 の出カステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
BACKUP	不揮発性メモリに RAM をバックアップします。 書き込み: 何かを書き込むとバックアッププロセスが開始します 読み取り: TRUE = 不揮発性メモリが最新ではありません。 FALSE = 不揮発性メモリが最新です。 ● 注記: バックアップ中、デバイスは約 500 ミリ秒間応答しなくなります。	Bool	読み取り書き込み
BURNOUT	ヒーターの焼損が検出されました。 TRUE = ヒーターの焼損が検出されました FALSE = ヒーターは問題ありません	Bool	読み取り専用
CT	ヒーターの電流。	Float、DWord、	読み

ニーモニック	説明	データ型	アクセス
	(0.2-50.0 A)	Long	取り専用
CTR-MD	制御の動作モード。* TRUE = "オン/オフ" FALSE = "2 自由度のPID"	Bool	読み取り専用
D	微分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、 Word	読み取り書き込み
DSPL-UNIT	表示単位。* TRUE = °F FALSE = °C	Bool	読み取り専用
HB	ヒーター焼損の設定温度。 (-199.9-999.9 度 Pt)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
I	積分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、 Word	読み取り書き込み
IN-S	入力シフトの設定値。 (-199.9-999.9 度 Pt)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
IN-S_DSPL	入力シフトの表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用

ニ一モニック	説明	データ型	アクセス
IN-T	入力 (センサー) のタイプ。* (0-4)	Short、 Word	読み取り専用
INITIALSTATUS	初期ステータスタグ INITIALSTATUS の値については、以下の図を参照してください。 ● 注記: INITIALSTATUS の値は、初回のデバイスセットアップ通信時および以下のアドレスを読み取る際に読み取られます。 AL-1-MD AL-2-MD CTR-MD DSPL-UNIT IN-S_DSPL IN-T O-TYPE O-OP PID-DSPL	Short、 Word	読み取り専用
O	出力の値。 (0.0-100.0%)	Float、 DWord、 Long	読み取り専用
O-TYPE	出力のタイプ。* TRUE = 電流 FALSE = パルス	Bool	読み取り専用
O-OP	出力の動作モード。* TRUE = 標準 (冷却) FALSE = 逆 (加熱)	Bool	読み取り専用
P	比例帯の設定値。 (0.0-999.9 度)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
PID-DSPL	PID の表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用

二一モニク	説明	データ型	アクセス
PV	<p>プロセス値 (測定温度)。 (-199.9-999.9 度 Pt)</p> <p>● 注記: ハードウェアのステータス情報はPV値とともにドライバーに渡されるため、このメモリ位置がモニターされていることが重要です。ハードウェアの故障が発生した場合 (デバイスの故障、ヒーターの焼損、センサーの故障)、それはPVの読み取り操作中にのみドライバーによって検出されて報告されます。</p>	Float、DWord、Long	読み取り専用
RAM-MD	<p>RAMモードが有効かどうか。</p> <p>TRUE = RAMモード FALSE = バックアップモード</p> <p>不揮発性メモリの消費を防止するため、ドライバーは自動的にデバイスをRAMモードに切り替えます。ユーザーはBACKUPコマンドを実行することでRAMのコンテンツをバックアップできます。</p> <p>● 注記: デバイスのフロントパネルで "リモートモード" が選択されていない場合、ドライバーはデバイスを自動的にRAMモードに切り替えることができません。RMTボタンとRMTステータスインジケータはフロントパネルにあります。</p>	Bool	読み取り専用
REMOTE	<p>リモートモードが有効かどうか。</p> <p>TRUE = デバイスはリモートモード FALSE = デバイスはローカルモード</p> <p>デバイスのフロントパネルでリモートモードが選択されていないかぎり、ドライバーはデバイスに書き込むことができません。</p>	Bool	読み取り専用
SL-H	設定ポイントの上限。 **	Float、DWord、Long	読み取り専用
SL-L	設定ポイントの下限。 **	Float、DWord、Long	読み取り専用
SP-S-IN	<p>設定ポイントのシフト入力の状態。</p> <p>TRUE = シフトが有効 FALSE = シフトが無効</p> <p>デバイス上の該当する端子を短絡すると状態はTRUEになります。</p>	Bool	読み取り専用
SV	<p>設定値の温度。</p> <p>設定範囲: SL-L-SL-H。</p>	Float、DWord、Long	読み取り/書き込み

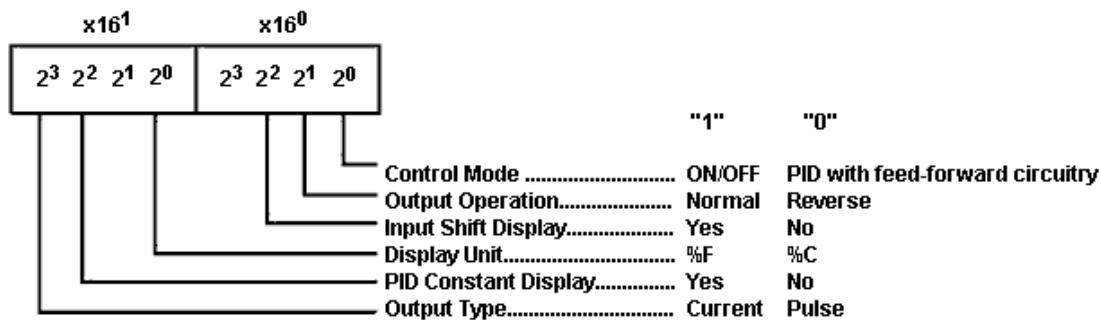
二一モニツク	説明	データ型	アクセス
ADCERR	A/D コンバータのエラー/故障	Boolean	読み取り専用
SENSERR	異常入力/センサーエラー	Boolean	読み取り専用
RAMERR	RAM データエラー	Boolean	読み取り専用

*これはハードウェア設定です。詳細については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

**この値はデバイスのフロントパネルで設定する必要があります。有効な範囲については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

◆**注記:** TC は熱電対タイプのセンサーの温度範囲を示しています。Pt は白金抵抗温度計タイプのセンサーの温度範囲を示しています。示されている温度範囲はすべて、華氏 (F) と摂氏 (C) で同じ数値になります。

INITIALSTATUS の値のフォーマット



E5GN-TC アドレスの説明

デフォルトのデータ型を太字で示しています。

二一モニツク	説明	データ型	アクセス
AL-1	アラーム 1 の設定温度。 (-1999-9999 度 TC)	Float 、 DWord、 Long	読み取り書き込

二一モニック	説明	データ型	アクセス
			み
AL-1-MD	アラーム 1 の動作モード。* (0-9)	Short、 Word	読み取り専用
AL-1-OUT	アラーム 1 の出力ステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
AL-2	アラーム 2 の設定温度。 (-1999-9999 度 TC)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
AL-2-MD	アラーム 2 の動作モード。* (0-9)	Short、 Word	読み取り専用
AL-2-OUT	アラーム 2 の出力ステータス。 TRUE = アラームがオン FALSE = アラームがオフ	Bool	読み取り専用
BACKUP	不揮発性メモリに RAM をバックアップします。 書き込み: 何かを書き込むとバックアッププロシージャが開始します 読み取り: TRUE = 不揮発性メモリが最新ではありません。 FALSE = 不揮発性メモリが最新です。 ● 注記: バックアップ中、デバイスは約 500 ミリ秒間応答しなくなります。	Bool	読み取り書き込み
BURNOUT	ヒーターの焼損が検出されました。 TRUE = ヒーターの焼損が検出されました FALSE = ヒーターは問題ありません	Bool	読み取り専用
CT	ヒーターの電流。 (0.2-50.0 A)	Float、 DWord、 Long	読み取り

ニーモニック	説明	データ型	アクセス
			専用
CTR-MD	制御の動作モード。* TRUE = "オン/オフ" FALSE = "2 自由度の PID"	Bool	読み取り専用
D	微分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、 Word	読み取り書き込み
DSPL-UNIT	表示単位。* TRUE = °F FALSE = °C	Bool	読み取り専用
HB	ヒーター焼損の設定温度。 (-1999-9999 度 TC)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
I	積分時間の設定値。 (0-3999 秒)	Short、 Word	読み取り書き込み
IN-S	入カシフトの設定値。 (-1999-9999 度 TC)	Float、 DWord、 Long	読み取り書き込み
IN-S_DSPL	入カシフトの表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用
IN-T	入力 (センサー) のタイプ。	Short、	読

二一モニック	説明	データ型	アクセス
	(0-16)*	Word	み取り専用
INITIALSTATUS	<p>初期ステータスタグ</p> <p>INITIALSTATUS の値については、以下の図を参照してください。</p> <p>● 注記: INITIALSTATUS の値は、初回のデバイスセットアップ通信時および以下のアドレスを読み取る際に読み取られます。</p> <p>AL-1-MD AL-2-MD CTR-MD DSPL-UNIT IN-S_DSPL IN-T O-TYPE O-OP PID-DSPL</p>	Short、Word	読み取り専用
O	出力の値。 (0.0-100.0%)	Float、DWord、Long	読み取り専用
O-TYPE	出力のタイプ。* TRUE = 電流 FALSE = パルス	Bool	読み取り専用
O-OP	出力の動作モード。* TRUE = 標準 (冷却) FALSE = 逆 (加熱)	Bool	読み取り専用
P	比例帯の設定値。 (0.0-999.9 度)	Float、DWord、Long	読み取り書き込み
PID-DSPL	PID の表示が有効かどうか。* TRUE = 有効 FALSE = 無効	Bool	読み取り専用

モニター	説明	データ型	アクセス
PV	<p>プロセス値 (測定温度)。 (-1999-9999 度 TC)</p> <p>● 注記: ハードウェアのステータス情報は PV 値とともにドライバーに渡されるため、このメモリ位置がモニターされていることが重要です。ハードウェアの故障が発生した場合 (デバイスの故障、ヒーターの焼損、センサーの故障)、それは PV の読み取り操作中にのみドライバーによって検出されて報告されます。</p>	Float、DWord、Long	読み取り専用
RAM-MD	<p>RAM モードが有効かどうか。</p> <p>TRUE = RAM モード FALSE = バックアップモード</p> <p>不揮発性メモリの消費を防止するため、ドライバーは自動的にデバイスを RAM モードに切り替えます。ユーザーは BACKUP コマンドを実行することで RAM のコンテンツをバックアップできます。</p> <p>● 注記: デバイスのフロントパネルで "リモートモード" が選択されていない場合、ドライバーはデバイスを自動的に RAM モードに切り替えることができません。RMT ボタンと RMT ステータスインジケータはフロントパネルにあります。</p>	Bool	読み取り専用
REMOTE	<p>リモートモードが有効かどうか。</p> <p>TRUE = デバイスはリモートモード FALSE = デバイスはローカルモード</p> <p>デバイスのフロントパネルでリモートモードが選択されていないかぎり、ドライバーはデバイスに書き込むことができません。</p>	Bool	読み取り専用
SL-H	設定ポイントの上限。 **	Float、DWord、Long	読み取り専用
SL-L	設定ポイントの下限。 **	Float、DWord、Long	読み取り専用
SP-S-IN	<p>設定ポイントのシフト入力の状態。</p> <p>TRUE = シフトが有効 FALSE = シフトが無効</p> <p>デバイス上の該当する端子を短絡すると状態は TRUE になります。</p>	Bool	読み取り専用
SV	<p>設定値の温度。</p> <p>設定範囲: SL-L-SL-H。</p>	Float、DWord、Long	読み取り書き込み

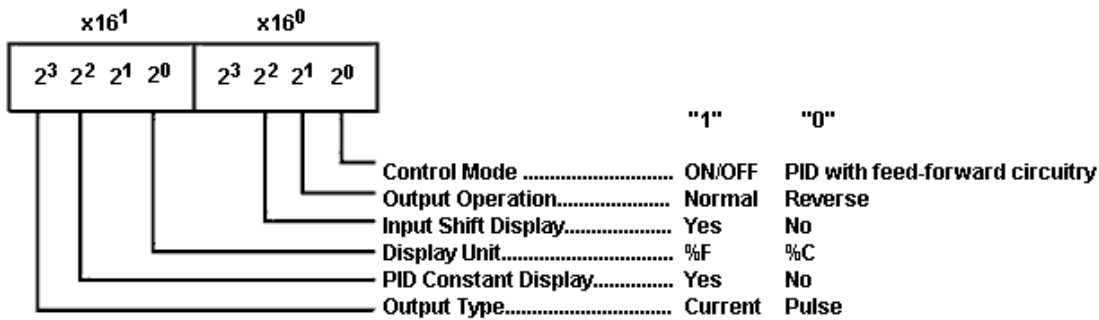
二一モニツク	説明	データ型	アクセス
ADCERR	A/D コンバータのエラー/故障	Boolean	読み取り専用
SENSERR	異常入力/センサーエラー	Boolean	読み取り専用
RAMERR	RAM データエラー	Boolean	読み取り専用

*これはハードウェア設定です。詳細については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

**この値はデバイスのフロントパネルで設定する必要があります。有効な範囲については、デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

● **注記:** TC は熱電対タイプのセンサーの温度範囲を示しています。Pt は白金抵抗温度計タイプのセンサーの温度範囲を示しています。示されている温度範囲はすべて、華氏 (F) と摂氏 (C) で同じ数値になります。

INITIALSTATUS の値のフォーマット



イベント ログメッセージ

次の情報は、メインユーザーインターフェースの「イベントログ」枠に記録されたメッセージに関するものです。「イベントログ」詳細ビューのフィルタと並べ替えについては、サーバーのヘルプを参照してください。サーバーのヘルプには共通メッセージが多数含まれているので、これらも参照してください。通常は、可能な場合、メッセージのタイプ (情報、警告) とトラブルシューティングに関する情報が提供されています。

デバイスエラー。RAM データエラー。| アドレス = '<アドレス>'。

エラータイプ:
エラー

考えられる原因:
ランダムアクセスメモリ (RAM) への書き込み中にエラーが発生しました。

解決策:

データを再入力してください。それでも問題が発生する場合、デバイスを修理するか交換してください。

デバイスエラー。A/D コンバータエラー。| アドレス = '<アドレス>'。

エラータイプ:

エラー

考えられる原因:

デバイスでアナログ/デジタルコンバータの故障が検出されました。

解決策:

デバイスを修理するか交換してください。

デバイスエラー。センサーエラー。| アドレス = '<アドレス>'。

エラータイプ:

エラー

考えられる原因:

デバイスでセンサーの故障が検出されました。

解決策:

センサーが正常に動作する状態にあり、デバイスに適切に接続していることを確認してください。

通信エラー。デバイスがローカルモードであるかオートチューニングです。| アドレス = '<アドレス>'。

エラータイプ:

警告

考えられる原因:

ローカルモード (またはオートチューニング) でデバイスに書き込もうとしました。

解決策:

1. デバイスがローカルモードの場合、フロントパネルからリモートモードに切り替えてください。
2. デバイスがオートチューニングの場合、プロシージャが完了するのを待つか (デバイスのフロントパネルから、または書き込み AT=FALSE コマンドを発行することで) 強制終了してください。

通信エラー。パリティ。| アドレス = '<アドレス>'。

エラータイプ:

警告

考えられる原因:

デバイスは不正なパリティビットを含む情報のフレームを受信しました。ケーブル接続にノイズがあるか接続が不完全です。

解決策:

ケーブルが適切にシールドされ、最大長を超えていないことを確認してください (RS-232C では 15 m、RS-485 では 500 m)。ケーブルとコネクタが電氣的に正常であることを確認してください。

通信エラー。フレーミング。| アドレス = '<アドレス>'。

エラータイプ:

警告

考えられる原因:

デバイスはストップビットが 0 である情報のフレームを受信しました。ケーブル接続にノイズがあるか接続が不完全です。

解決策:

ケーブルが適切にシールドされ、最大長を超えていないことを確認してください (RS-232C では 15 m、RS-485 では 500 m)。ケーブルとコネクタが電氣的に正常であることを確認してください。

通信エラー。レジスタオーバーラン。| アドレス = '<アドレス>'。

エラータイプ:

警告

考えられる原因:

デバイスの受信データレジスタがすでに一杯になっている状態でそのデバイスに新しいデータを送信しようとした。

解決策:

データを再入力してください。

通信エラー。チェックサム。| アドレス = '<アドレス>'。

エラータイプ:

警告

考えられる原因:

フレームチェックシーケンスがエラーです。ケーブル接続にノイズがあるか接続が不完全です。

解決策:

ケーブルが適切にシールドされ、最大長を超えていないことを確認してください (RS-232C では 15 m、RS-485 では 500 m)。ケーブルとコネクタが電氣的に正常であることを確認してください。

通信エラー。フォーマット。| アドレス = '<アドレス>'。

エラータイプ:

警告

考えられる原因:

デバイスは長さが不正である情報のフレームを受信しました。ケーブル接続にノイズがあるか接続が不完全です。

解決策:

ケーブルが適切にシールドされ、最大長を超えていないことを確認してください (RS-232C では 15 m、RS-485 では 500 m)。ケーブルとコネクタが電氣的に正常であることを確認してください。

通信エラー。デバイスがデータを却下しました。| アドレス = '<アドレス>'。

エラータイプ:

警告

考えられる原因:

無効なデータがデバイスに送信されました。デバイスは有効と見なさないデータを却下し、そのメモリ位置の内容は変更されません。たとえば、SL-H=50 がすでに設定されている場合、SV は SL-H より小さい必要があるため、デバイスは SV=100 の書き込み要求を却下します。

解決策:

書き込まれる値がそのメモリ位置に適切であることを確認してください。有効な正しい値を入力してください。

デバイスエラー。オーバーフローエラー。| アドレス = '<アドレス>'。

エラータイプ:

警告

考えられる原因:

1. センサーの故障。
2. 測定された温度はデバイスの上限より高くなっています。
3. 測定されている温度のシフト値はデバイスの表示範囲を超えています。

解決策:

1. センサーの接続を確認し、必要に応じてセンサーを交換してください。
2. 入力シフト値を変更するか、用途により適した別のハードウェアを採用することを検討してください。

デバイスエラー。アンダーフローエラー。| アドレス = '<アドレス>'。

エラータイプ:

警告

考えられる原因:

1. 測定された温度はデバイスの下限より低くなっています。
2. 測定されている温度のシフト値はデバイスの表示範囲を超えています。

解決策:

入力シフト値を変更するか、用途により適した別のハードウェアを採用することを検討してください。

エラーマスクの定義

B = ハードウェアの破損が検出されました

F = フレーミングエラー

E = I/O エラー

O = 文字バッファオーバーラン

R = RX バッファオーバーラン

P = 受信バイトパリティエラー

T = TX バッファフル

索引

B

Boolean 11

D

DWord 12

E

E5AF-A アドレスの説明 12

E5AF-AH アドレスの説明 18

E5AJ-A アドレスの説明 23

E5AX-A アドレスの説明	27
E5AX-AH アドレスの説明	32
E5AX-DAA アドレスの説明	37
E5AX-PRR アドレスの説明	42
E5AX-VAA アドレスの説明	47
E5CN-PT アドレスの説明	52
E5CN-TC アドレスの説明	57
E5EJ-A アドレスの説明	62
E5GN-PT アドレスの説明	66
E5GN-TC アドレスの説明	71

F

Float 12

I

I/O エラー 79

ID 9

L

Long 12

R

RX バッファオーバーラン 79

S

Short 11

T

TX バッファフル 79

W

Word 11

あ

アドレスの説明 12

い

イーサネットカプセル化 3

イベントログメッセージ 76

え

エラーマスクの定義 79

エラー時に格下げ 11

お

オーバーラン 79

き

キャッシュからの初回更新 10

さ

サポートされるデバイス 3

し

シミュレーション 9

す

スキャンしない、要求ポールのみ 10

スキャンモード 9

ストップビット 3

た

タイムアウト前の試行回数 10

タグに指定のスキャン速度を適用 10

ち

チャンネル割り当て 8

て

データコレクション 9

データビット 3

データ型の説明 11

デバイスエラー。A/D コンバータエラー。| アドレス = '<アドレス>'。 77

デバイスエラー。RAM データエラー。| アドレス = '<アドレス>'。 76

デバイスエラー。アンダーフローエラー。| アドレス = '<アドレス>'。 79

デバイスエラー。オーバーフローエラー。| アドレス = '<アドレス>'。 78

デバイスエラー。センサーエラー。| アドレス = '<アドレス>'。 77

と

ドライバー 8

ね

ネットワーク 3

は

ハードウェアの破損 79

パリティ 3, 79

ふ

フレーミング 79

フロー制御 3

プロトコル 3

ほ

ボーレート 3

も

モデル 8

漢字

一般 8

概要 3

格下げまでのタイムアウト回数 11

格下げ期間 11

格下げ時に要求を破棄 11

自動格下げ 11

識別 8

冗長 11

接続のタイムアウト 10

設定 3

通信エラー。チェックサム。|アドレス='<アドレス>'。 78

通信エラー。デバイスがデータを却下しました。|アドレス='<アドレス>'。 78

通信エラー。デバイスがローカルモードであるかオートチューニングです。|アドレス='<アドレス>'。 77

通信エラー。パリティ。|アドレス='<アドレス>'。 77

通信エラー。フォーマット。|アドレス='<アドレス>'。 78

通信エラー。フレーミング。|アドレス='<アドレス>'。 77

通信エラー。レジスタオーバーラン。|アドレス='<アドレス>'。 78

通信タイムアウト 10

通信パラメータ 3

通信プロトコル 3

動作モード 9

熱電対 12

白金抵抗温度計 12

符号なし 11

符号付き 12

名前 8

要求のタイムアウト 10

要求間遅延 10